

NTTディスプレイホン テレアシスト NT1000

取扱説明書

このたびは、NTTディスプレイホン・テレアシストNT1000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

1
前に
お使いになる

2
する
初期設定を

3
受ける
電話をかける／

4
登録する
電子電話帳を

5
を利用する
ICメモリカード






6
印刷する

7
こんなときには

安全にお使いいただくために必ずお読みください

このたびは、NTTディスプレイホン・テレアシストNT1000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。また、お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、同番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

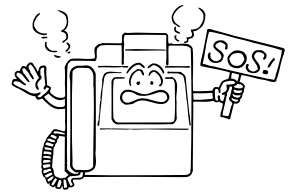
本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
本商品と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
設置する場所が交換センタから遠い場合、ご使用になれないことがありますので、設置や移動にあたっては当社のサービス取扱所にご相談ください。
本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

対処の仕方について



発煙への対処

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源を切り、その後必ず電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



破損時の対処

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、本商品の電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水などが入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



異物が装置内部に入った場合の対処

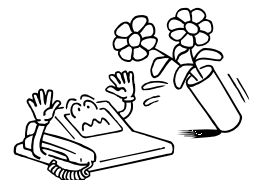
感熱ロール紙の交換、お手入れなどでロール紙ホルダを開けたときやICメモリカードの出し入れのときに、本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて異物を取り除いてからご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

設置についての禁止事項



本商品のそばへの水容器設置の禁止

本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱い上の禁止事項



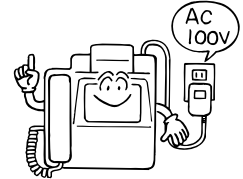
分解・改造の禁止

本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。



商用電源（AC100V）以外の使用禁止

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災の原因となることがあります。



付属の電源アダプタ以外の使用禁止

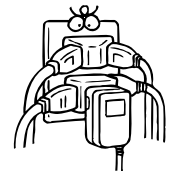
電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源コード取り扱いの注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

タコ足配線の禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ぬれた手で操作禁止

ぬれた手で本商品を操作したり、乾電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



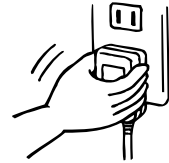
 **注意**

電源アダプタの取り扱いの注意

電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタを抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

また、移動させる場合は電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。



近くで雷が発生した場合の対処

近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

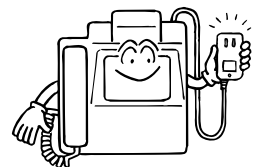


シリアルインタフェースジャックへの接続上の注意

シリアルインタフェースジャックへの接続の際は、必ずシリアルインタフェース切替スイッチ（232C / BCR）を接続する機器側に合わせてから接続してください。接続機器を破損する原因となることがあります。

電源の遮断について

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。電源アダプタを抜くときは、電池の残量にご注意ください。



感熱ロール紙交換の際のけがの注意

感熱ロール紙の交換でロール紙ホルダを開けるときには、突起物などにご注意ください。引っかけてけがの原因となることがあります。



乗り行為の禁止

本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ（紙排出部）の注意

小さなお子様がプリンタ（紙排出部）から、指を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱い上のご注意

⚠ 注意

指定外品の使用禁止

本商品で指定されていない乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。



適正装着の指示

電池を本商品に挿入する場合は、極性表示 プラス(+)とマイナス(-)の向き に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えると乾電池の破裂・液漏れにより、けがをしたり周囲を汚損する原因となることがあります。

また、使用済の電池は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。

設置についてのご注意

⚠ 注意

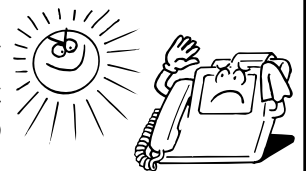
湿度の高い場所への設置禁止

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



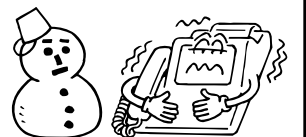
火気のそばへの設置禁止

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



結露しやすい場所への設置禁止

寒い場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。誤動作の原因となることがあります。



調理台のそばやほこりの多い場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所、チリやほこり、鉄粉、有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



設置についてのご注意

⚠ 注意

不安定な場所、振動・衝撃の多い場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や、振動・衝撃の多い場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



接触面の変色の注意

本商品底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面がまれに変色するおそれがあります。

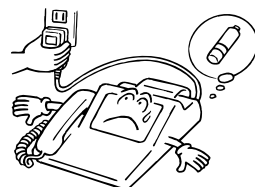
取り扱いについて

STOP お願い

お手入れの際は、安全のため電源アダプタをコンセントから抜いて行き、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください（本商品の変色や変形の原因となることがあります）。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



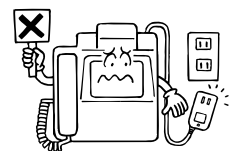
電源アダプタを抜くときは、電池の残量にご注意ください。電源アダプタを抜いた状態では乾電池が消耗し、本体内に記憶されたデータの内容が消去される場合があります。



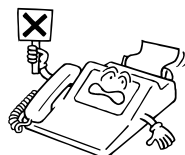
落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



長期間ご使用にならないとき以外は、電源アダプタを抜いたままにしないでください。電源アダプタを抜いた状態では乾電池が消耗し、本体内に記憶されたデータの内容が消去される場合があります。



印刷中にロール紙ホルダを開けないでください。



液晶ディスプレイの表面を強く押さないでください。無理な力をかけると、傷が付いたり割れることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ICメモリカードについて

STOP お願い

ICメモリカードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください。電源を入れたままICメモリカードの抜き差しを行うと、通信は切断され、カード内のメモリ内容が破壊されるおそれがあります。

ICメモリカードは、テレアシスト用アプリケーションカード以外のものは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について

STOP お願い

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなる場合があります。



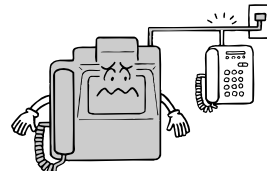
本商品は、通風のよい場所へ設置してください。使用中、底面およびプリンタ（紙排出部）付近が暖かくなる場合があります。



接続について

STOP お願い

本商品を含めて複数の電話機のブランチ接続はしないでください。モデム通信時にデータエラーが発生する原因となることがあります。



PBX、ビジネスホン、ホームテレホンに接続するときは、当社のサービス取扱所へご相談ください。機器によっては接続できないことがあります。

使用する外部電話機によっては正常な通話ができない場合もあります。外部電話機は必ず「技術基準適合認証品」で通信機械工業会が品質を保証した「Cマーク」付きのものをお勧めします。



公衆電話、共同電話、地域集団電話などには使用できません。

硬貨料金収納サービスのご利用回線には接続しないでください。モデム通信時データエラーが発生することがあります。

INSネットサービスをご利用になる場合、銀行ANSERなどのアプリケーションカード（DDX-TP利用）がご利用できなくなります。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

キャッチホンサービスをご契約になる場合には次の点にご注意ください。

- データの送受信中に他の方から電話がかかってくるとデータエラーが発生することがあります。
また、上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりませんが、キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承願います。
- モデム通信をお使いのときでも安心してご利用できるキャッチホン サービスもあります。なお、キャッチホン サービスをご利用の場合でも、お客様の操作などの注意が必要となります。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

感熱ロール紙について

STOP お願い

指定の感熱ロール紙をご使用ください。指定品以外ですと、正常に印刷されなかったり、故障の原因となることがあります。



直射日光に当てない、また、窓際に置かないようにしてください。変色の原因となります。



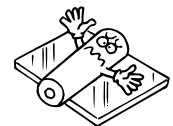
薬用品・油などを付けないでください。変色、記録消えの原因となります。



粘着テープ、のり、接着剤などを付けないでください。変色の原因となります。



塩化ビニール系プラスチックと重ねたりしないでください。変色、記録消えの原因となります。



青焼紙と重ねて保管しないでください。変色の原因となります。



高温・多湿の場所には置かないでください。変色の原因となります。

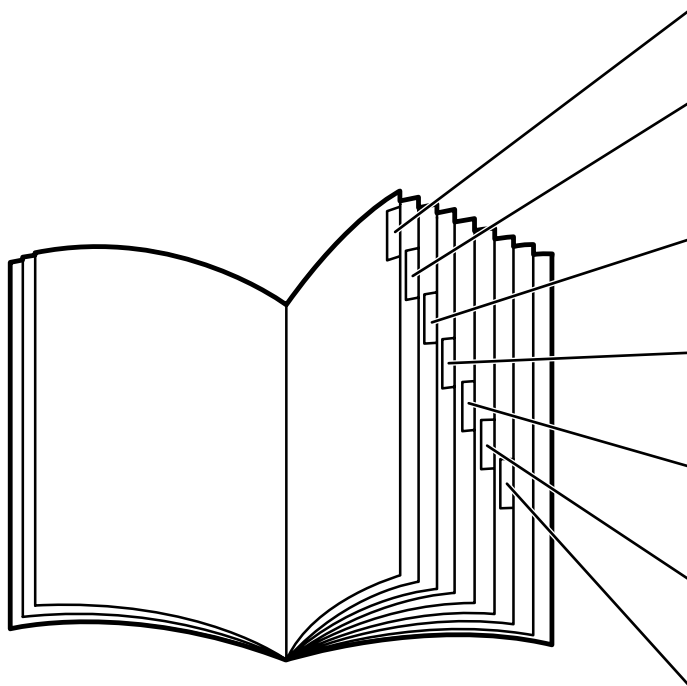


硬いものでこすらないでください。変色、発色の原因となります。



この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



- 1** お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。
- 2** 初期設定をする
日付・時刻の設定、回線・モデムの設定など、お使いになる前にあらかじめ設定する項目について説明しています。
- 3** 電話をかける / 受ける
電話をかけたたり、受けたりする基本機能について説明しています。
- 4** 電子電話帳を登録する
よく電話をかける相手先を登録する電子電話帳の操作方法について説明しています。
- 5** ICメモリカードを利用する
ICメモリカードの利用について説明しています。
- 6** 印刷する
表示画面などの印刷方法について説明しています。
- 7** こんなときには
エラーメッセージが出たときの対処方法や故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明のページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

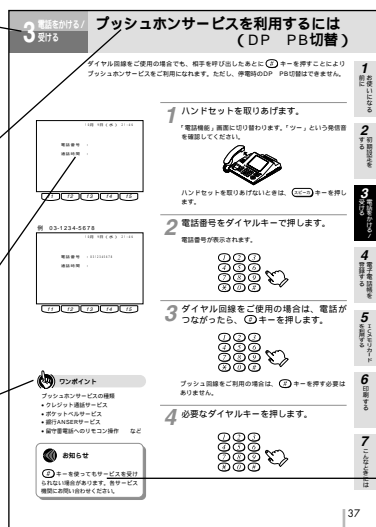
目的ごとにタイトルが付けられています。

表示画面

操作の結果が表示されます。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。



操作手順説明

順番に操作を説明します。

お願いまたはお知らせ お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

お知らせ

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見方	11

1 お使いになる前に

特長	14
セットを確認してください	15
各部の名前	16
接続します	20
電話回線の設定をします	21
感熱ロール紙をセットします	22
電源を入れます(初期メニュー画面の表示)	24
画面の操作方法について	25
日付・時刻の表示	25
ファンクションキーの機能表示	25
カーソルの移動	25

2 初期設定をする

日付と時刻を合わせます	26
回線・モデムの設定	28
ディスプレイ表示などの設定	30

3 電話をかける / 受ける

電話をかけるには(発信)	32
電話がかかってきたときは(着信)	34
相手の方に待っていただくには(保留)	35
同じ相手にかかけ直すには(再ダイヤル)	36

プッシュホンサービスを利用するには (DP PB切替)	37
電子電話帳で電話をかけるには	38

4 電子電話帳を登録する

電子電話帳を登録するには	40
名前を入力方法	44
ひらがな(全角)の入力方法	44
漢字の入力方法	46
カタカナ(全角)の入力方法	48
その他の文字の入力方法	50
文字や数字の修正方法	52
登録前に修正する	52
登録を途中でやめる	53
電子電話帳を訂正するには	54
登録内容を修正する	54
個別に登録を削除する	56
すべての登録を削除する	58

5 ICメモリカードを利用する

ICメモリカードを利用するには	60
ICメモリカードを入れる	60
ICメモリカードを取り出す	60

6 印刷する

印刷するには	62
--------	----

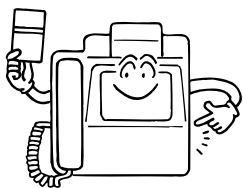
7 こんなときには

感熱ロール紙がつまったら	64
電池を交換するには	65
電源復旧するには	66
停電になったときは	67
故障かな?と思ったら	68
エラーメッセージの意味と処置方法	70
索引	71
主な仕様	74
保守サービスのご案内	75

特長

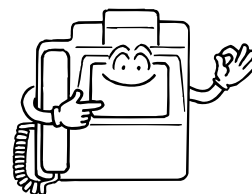
ICメモリカードによるアプリケーションの拡張

JEIDA（日本電子工業振興協会）Ver4.0仕様準拠のICメモリカード差し替えにより、ホームバンキング、ホームトレーディング、受発注、チケット予約などの多様なサービスに対応できます。（●P60）



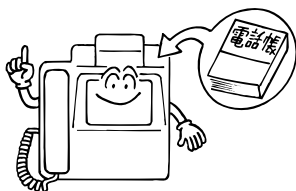
見やすい大型液晶ディスプレイ

画面が見やすく、濃淡の調整ができる大型液晶ディスプレイです。設置環境に影響されることなく画面を見ながら操作できます。



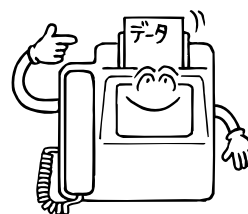
最大100件まで登録できる電子電話帳

よくかける相手先の電話番号を最大100件まで登録できます。電子電話帳を使えば、ワンタッチで電話をかけることができ間違い電話も減ります。（●P40）



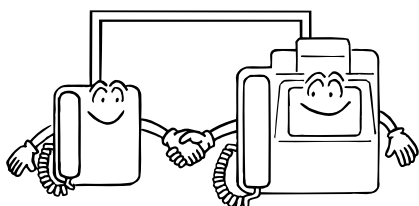
印刷機能

電子電話帳の内容やICメモリカードによるアプリケーション機能によって得られたデータや画面の表示内容が印刷できます。（●P62）



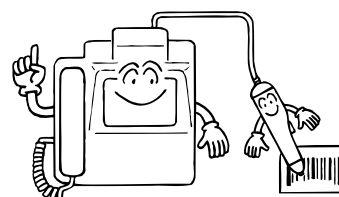
外部電話機の接続

お手持ちの電話機を本商品に接続してご使用になれます。（●P20）



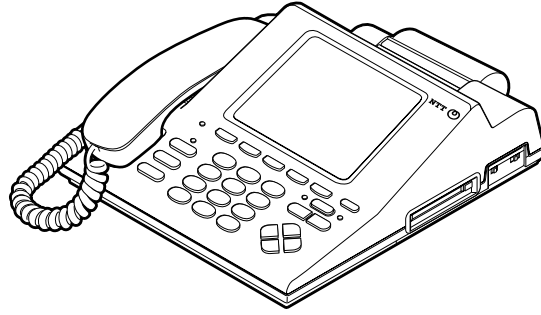
データ入力機器との接続

バーコードリーダーなどのデータ入力機器を接続できます。（●P20）



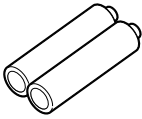
セットを確認してください

本体

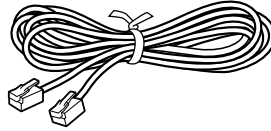


本体 (1台)

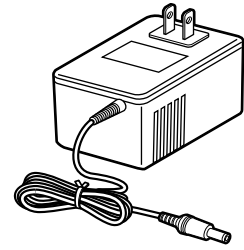
付属品



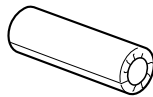
単三乾電池 (2本)



電話機コード (1本)



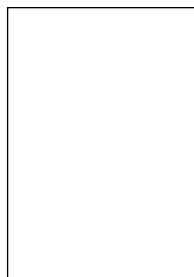
電源アダプタ (1個)



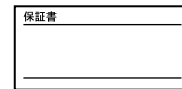
感熱ロール紙 (1本)



テレアシストプリンタ用紙
購入先シール (1枚)



取扱説明書 (1部)



保証書 (1枚)

1
前に
お使いになる

2
する
初期設定を

3
受ける
電話をかける /

4
登録する
電子電話帳を

5
を利用する
ICメモリカード

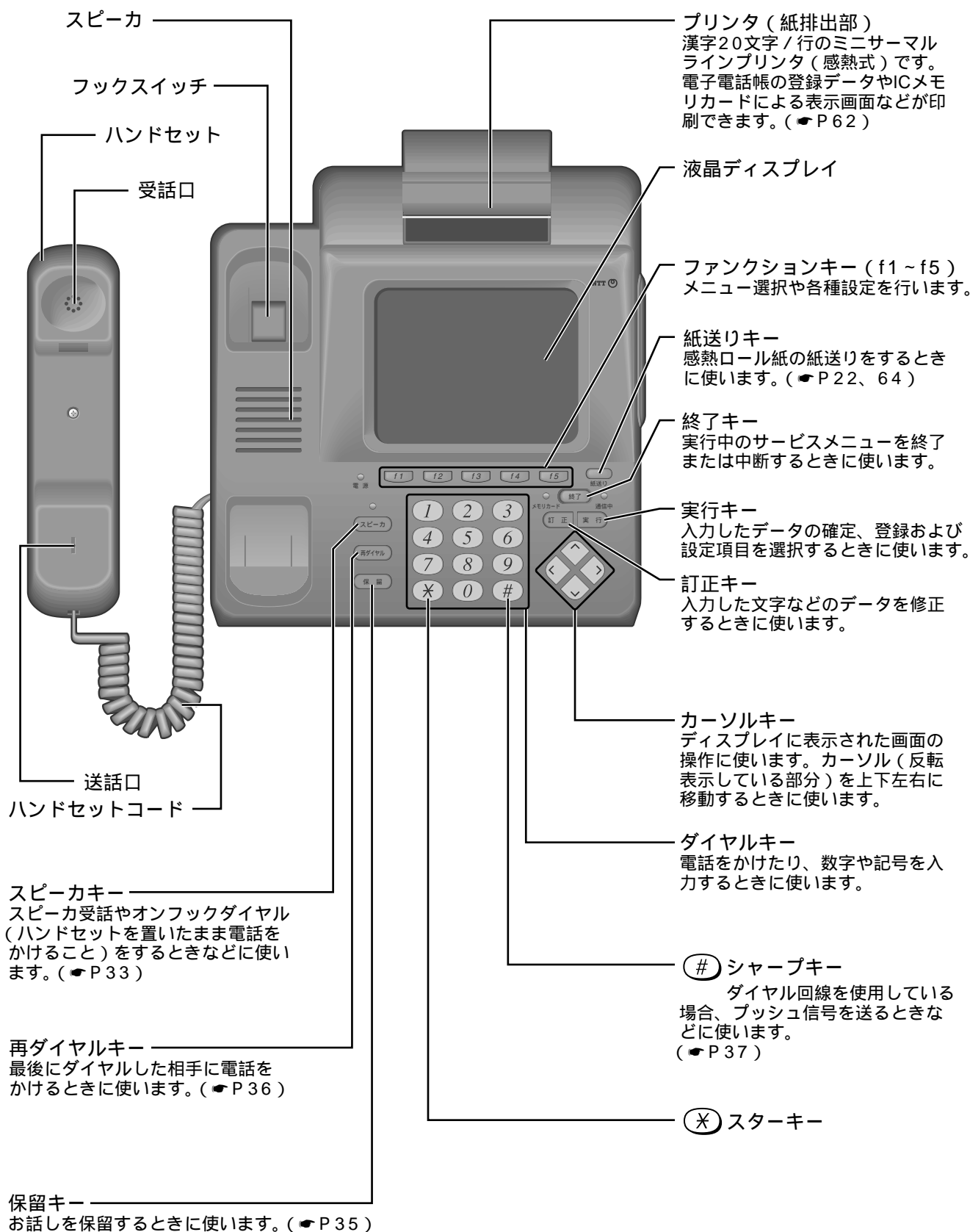
6
印刷する

7
こんなときは

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合には、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

各部の名前

【本体】



1
前に
お使いになる

2
する
初期設定を

3
受ける
電話をかける /

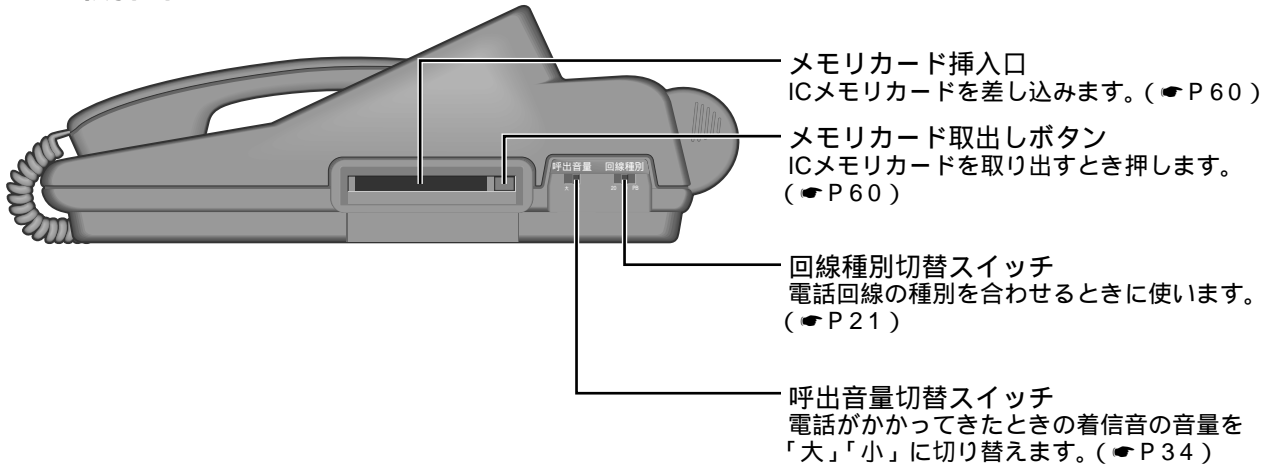
4
登録する
電子電話帳を

5
を利用する
ICメモ리카ード

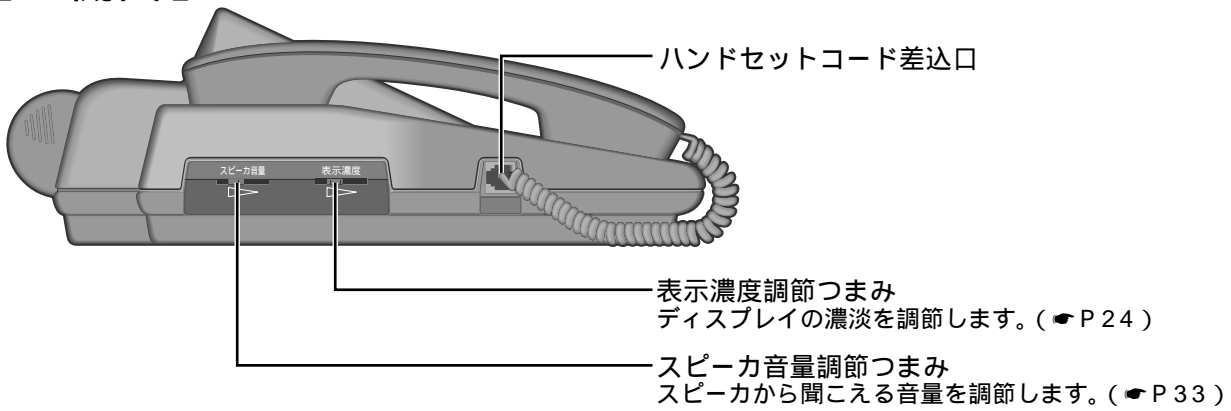
6
印刷する

7
こんなときには

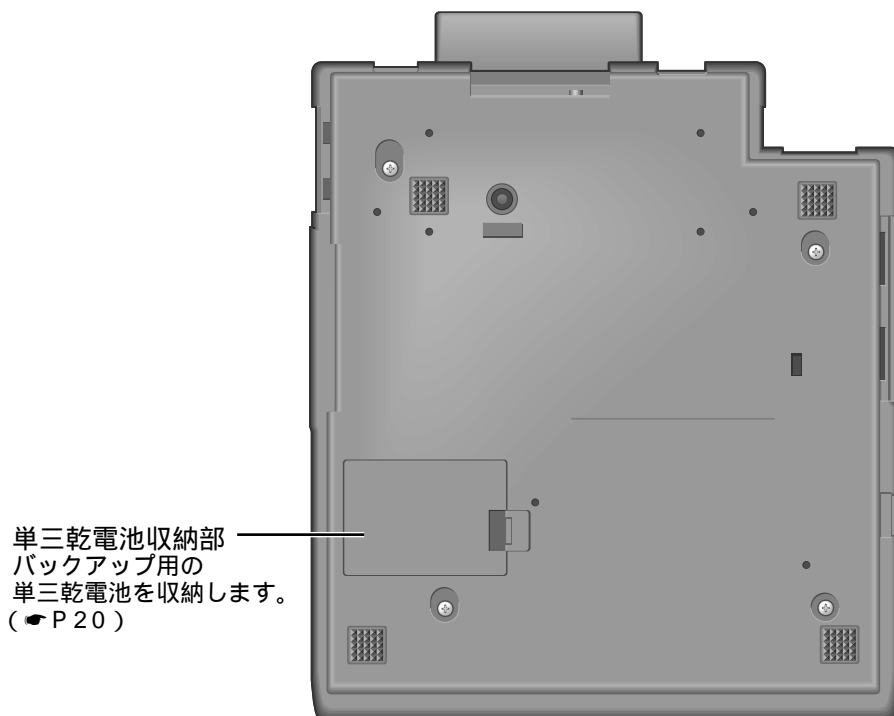
【右側面】



【左側面】

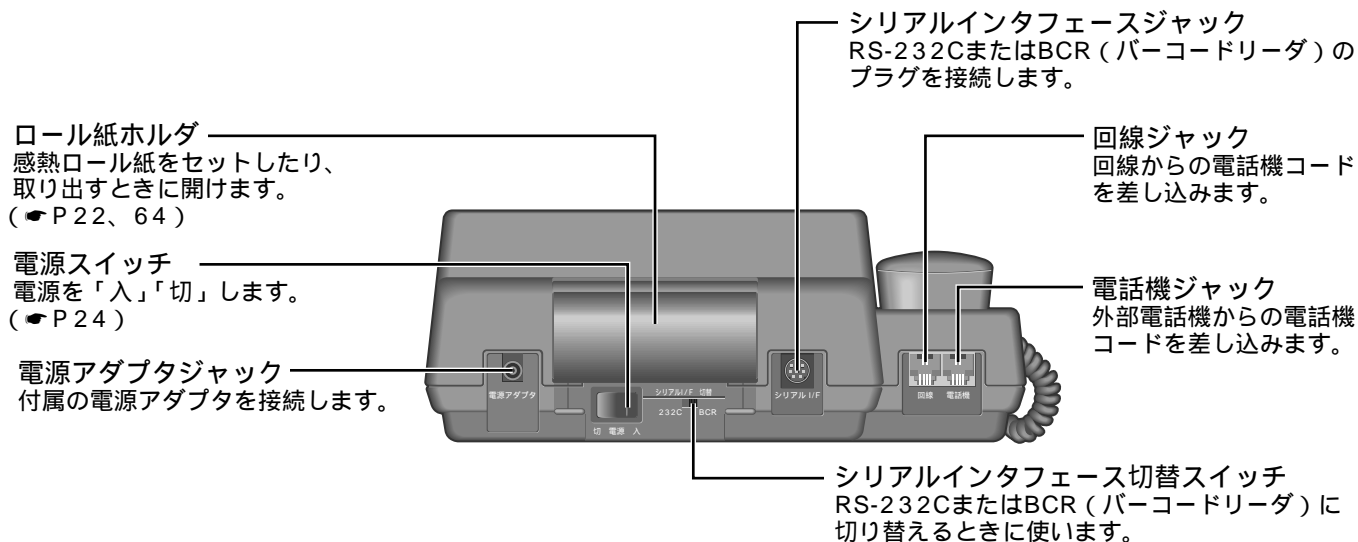


【底面】



各部の名前

【背面】



STOP お願い

シリアルインタフェースジャックへは、テレアシストシリーズのオプション (別売品) 以外を取り付けないでください。

⚠ 注意

シリアルインタフェースジャックへの接続の際は、必ずシリアルインタフェース切替スイッチ (232C/BCR) を接続する機器に合わせてから接続してください。接続機器を破損する原因となることがあります。

⚠ 警告

電源アダプタのコードを傷つけた、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプタのコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタのコードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

1
前に
お使いになる

2
する
初期設定を

3
受ける
電話をかける /

4
登録する
電子電話帳を

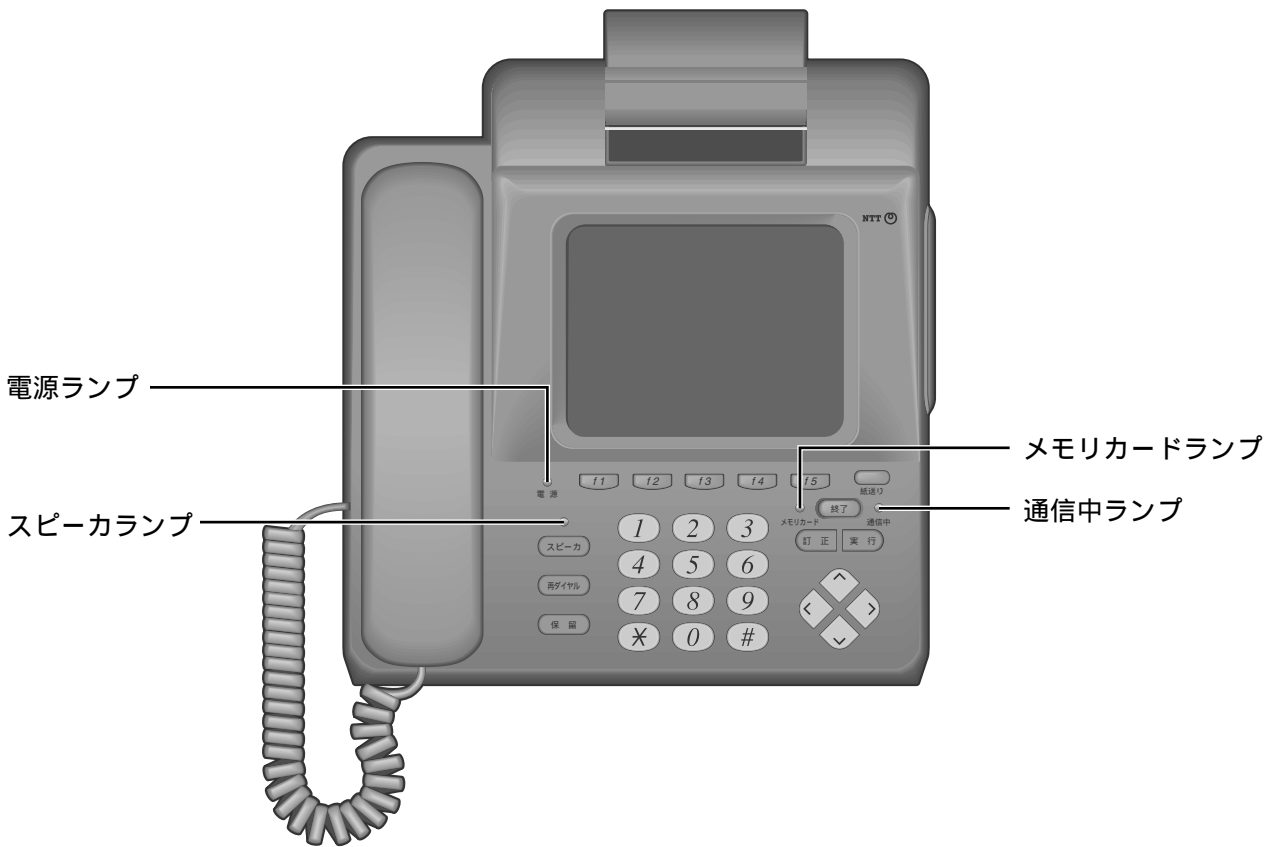
5
を利用する
ICメモ리카ード

6
印刷する

7
こんなときには

【ランプ表示】

電源「入」時や通信中の状態などをランプで表示します。



ランプの表記について

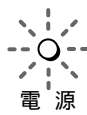
この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯



メモ리카ード

ランプの点滅



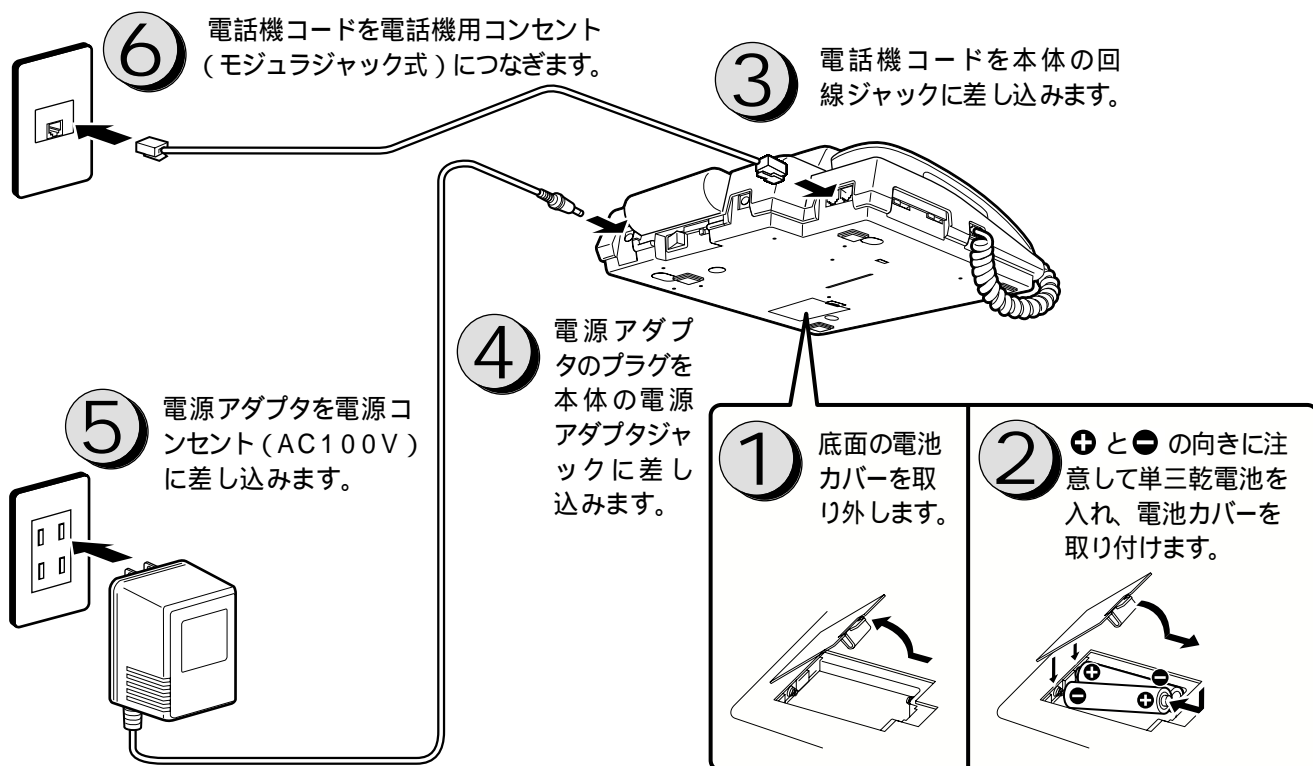
電源

ランプの種類	ランプのつき方(色)	テレアシストNT1000の状態
電源ランプ	点灯 (緑)	電源が入っているとき
	点滅 (赤)	バックアップ用乾電池の電圧が低下しているとき
スピーカランプ	点灯 (緑)	ハンドセットを置いたまま電話をしているとき
メモ리카ードランプ	点灯 (緑)	ICメモ리카ードが挿入されているとき
通信中ランプ	点灯 (緑)	ICメモ리카ードのアプリケーション機能でデータ通信しているとき

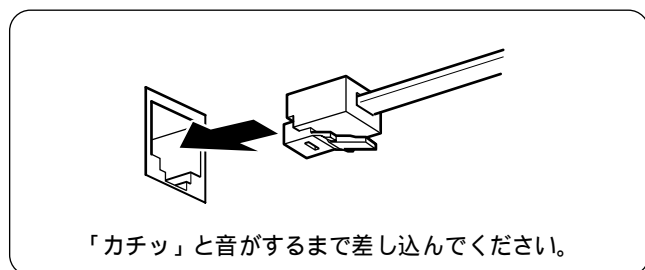
接続します

接続は次に示す手順で行ってください。

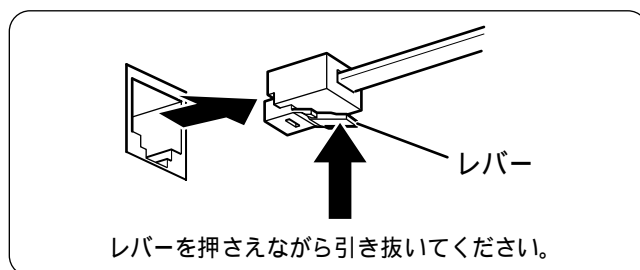
電話回線がモジュラジャック式でないときは工事が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。



モジュラジャック式コードを差し込むとき



モジュラジャック式コードを引き抜くとき



STOP お願い

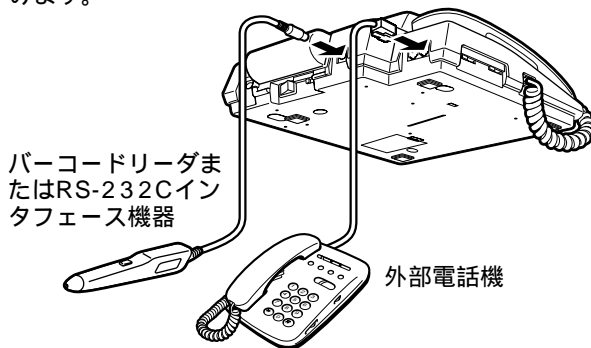
他の機器と接続する場合は、必ず本体の電源を切ってから行ってください。
電源アダプタを電源コンセント(AC100V)に差し込むとき、電源スイッチが「切」であることを確認してください。

警告

ぬれた手で本商品进行操作したり、乾電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。故障の原因となることがあります。

他の機器との接続

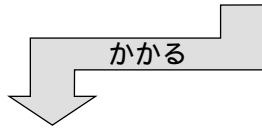
RS-232Cインタフェース機器またはBCR（バーコードリーダー）を接続してご利用になる場合、本商品のシリアルインタフェースジャックに機器のコネクタを接続します。また、お手持ちの電話機を外部電話機としてご使用になる場合、電話機ジャックに外部電話機の電話機コードを差し込みます。



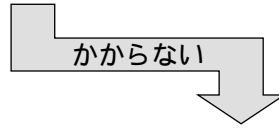
電話回線の設定をします

ご利用になっている電話回線の種別、ダイヤル速度に合わせて、本体右側にある回線種別切替スイッチを設定します。お買い求め時は、PB（プッシュ回線）に設定されています。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

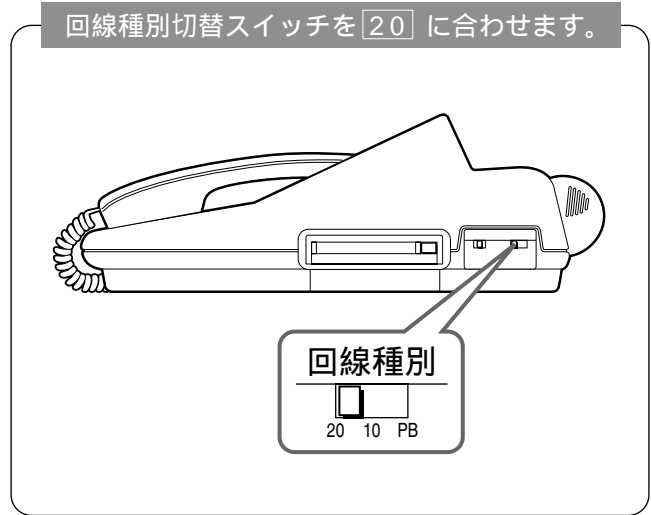
お買い求め時の状態で、177（天気予報）などに電話をかけてみます。



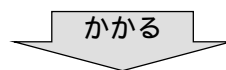
そのままの設定でお使いください。



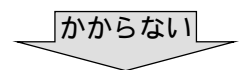
回線種別切替スイッチを **20** に合わせます。



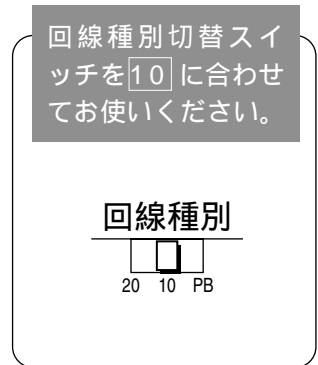
もう一度、177（天気予報）などに電話をかけてみます。



そのままの設定でお使いください。



回線種別切替スイッチを **10** に合わせてお使いください。



お知らせ

177番に電話をかけると、通話料金がかかります。回線種別切替スイッチを間違えて設定しても、電話を受けることはできます。



お願い

回線種別切替スイッチは正しく設定してください。回線種別切替スイッチを正しく設定しないと、電話がかからなかったり、違う相手にかかったりします。お手持ちの電話機を外部電話機として使用するときには、本体と同じ回線種別に設定してください。

1 前にお使いになる

2 初期設定をする

3 電話をかける/受ける

4 電子電話帳を登録する

5 ICメモリカードを利用する

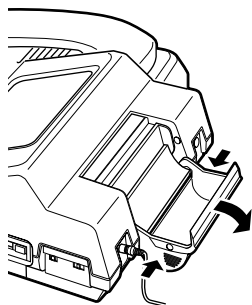
6 印刷する

7 こんなときには

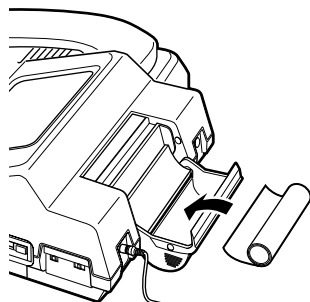
感熱ロール紙をセットします

感熱ロール紙を本体にセットします。交換するときは残っている感熱ロール紙を取り出してから行います。感熱ロール紙のセットは、電源が「入」の状態で行います。

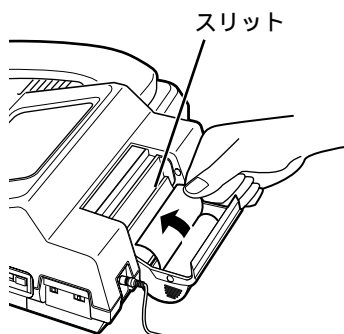
- ① ロール紙ホルダの両脇を指で押しながら開けます。



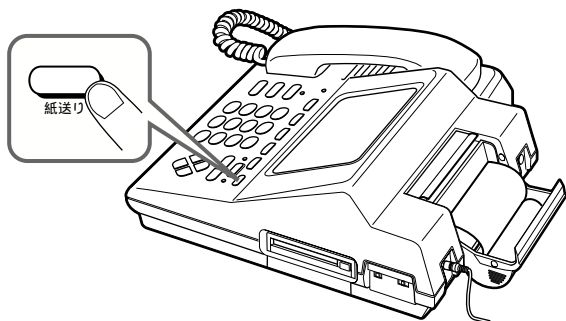
- ② ロール紙ホルダの中に、巻き方向に注意して感熱ロール紙を入れます。



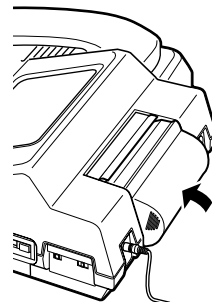
- ③ 感熱ロール紙の先端をスリットに挿入します。



- ④ 紙送りキーを押して、感熱ロール紙を紙排出部から1cmほど出します。

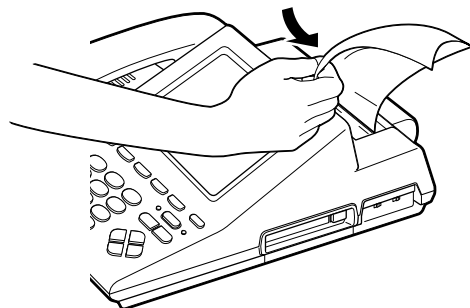


- ⑤ ロール紙ホルダをもとの位置にしっかり差し込みます。



ワンポイント

感熱ロール紙を切断するには、図のように感熱ロール紙を矢印の方向に引いて切断します。



⚠ 注意

感熱ロール紙のセットや交換などでロール紙ホルダを開けるときは、突起物などにご注意ください。引っかけてけがの原因となることがあります。



お知らせ

感熱ロール紙への印刷方法は、「印刷するには」(●P62)を参照してください。

感熱ロール紙がつまったりしたときは、「感熱ロール紙がつまったら」(●P64)を参照して取り除いてください。

使用する前の感熱ロール紙は、購入時の包装のまま、直射日光や高温多湿の場所を避けて保管してください。

印刷した感熱ロール紙を長期間保存するときは、複写機でコピーしたものを保存してください。

感熱ロール紙の購入先

感熱ロール紙の購入は下記へお願いします。なお、他の製品との混同を避けるために、「テレアシストNT1000用プリンタ用紙」とご指定ください。

NTTテレマーケティング株式会社

電話 ☎ 0120 - 201010 FAX ☎ 0120 - 044044



お願い

指定の感熱ロール紙をお使いください。指定外の感熱ロール紙を使うと、薄く印刷されたり、故障の原因となることがあります。

感熱ロール紙をロール紙ホルダにセットするときは、巻き方向に注意してください。

感熱ロール紙の先端部が破れたり、折り目がついていたりすると、セットできず、紙送り不良の原因になりますのでご注意ください。

感熱ロール紙の変色や、発色、退色を防ぐためには、次のような点にご注意ください。

- 直射日光に当てたり、高温・多湿の場所には置かないでください。
- 硬いものでこすったり、薬品・油などを付けないようにしてください。
- 粘着テープ、のり、接着剤を付けないでください。
- 塩化ビニール系プラスチックと重ねたりしないでください。
- 青焼紙などと重ねて保管しないでください。

本商品を移動したときは、必ず感熱ロール紙のゆるみをチェックしてください。ゆるくなったらままだでは印刷のとき、感熱ロール紙が正常に出てこない場合があります。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
ノ

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

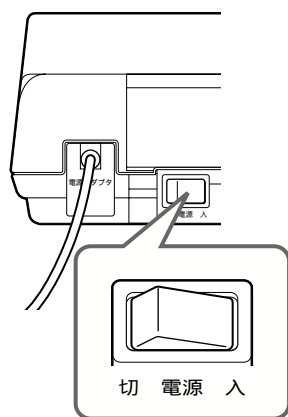
6
印
刷
す
る

7
こ
ん
な
と
き
に
は

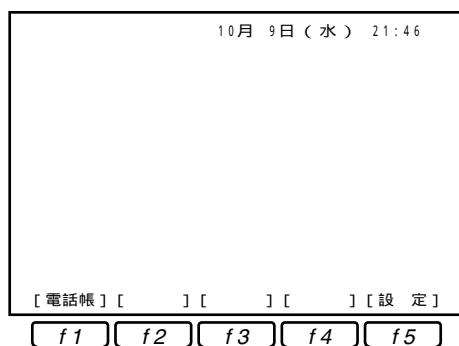
電源を入れます (初期メニュー画面の表示)

ICメモリカードを抜いた状態で電源を入れてください。ディスプレイに「初期メニュー」画面が表示されます。

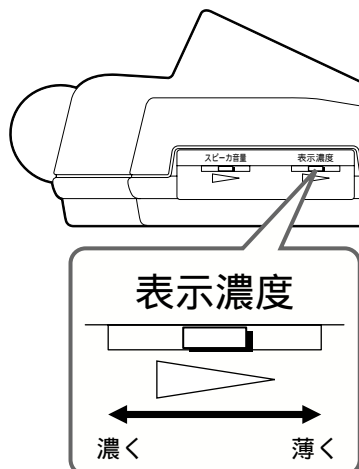
- ① 電源スイッチを押して電源を「入」にします。



- ② ディスプレイに「初期メニュー」画面が表示されます。



- ③ ディスプレイ表示の濃淡を調節します。



お知らせ

「初期メニュー」画面が表示されるまで数秒かかります。

ハンドセットを取りあげると、自動的に画面が切り替わり、「電話機能」画面が表示されます。(●P32)

「初期メニュー」画面からは、日付・時刻などの初期設定や電子電話帳の設定や操作などが行えます。

ハンドセットを取りあげたり、通信、キー操作が約5分間行われないと、ディスプレイのバックライトは自動的に消灯し、表示は見えなくなります。

ハンドセットを取りあげたり、本体のキー（紙送りキーを除く）を押すと、バックライトは点灯しディスプレイ表示が見えるようになります。バックライトを常時点灯するように設定することもできます。

(●P30)

取扱説明書の中で表示しているディスプレイは実際の画面とは多少異なることがあります。

STOP お願い

電源スイッチを「入」にしても、「初期メニュー」画面が表示されなかったときは、本商品が故障している可能性がありますので、「故障かな?と思ったら」

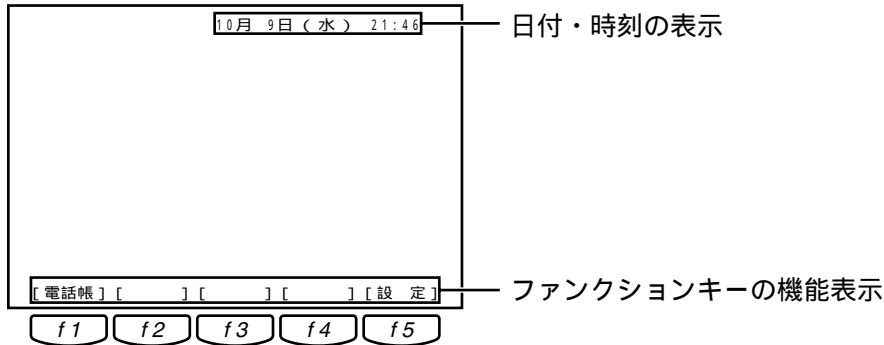
(●P68)をご確認のうえ、当社のサービス取扱所にご相談ください。

画面の操作方法について

本商品では、初期設定や電子電話帳の登録などをディスプレイに表示された画面を見ながら操作します。ここでは、共通的な操作方法について説明します。

日付・時刻の表示


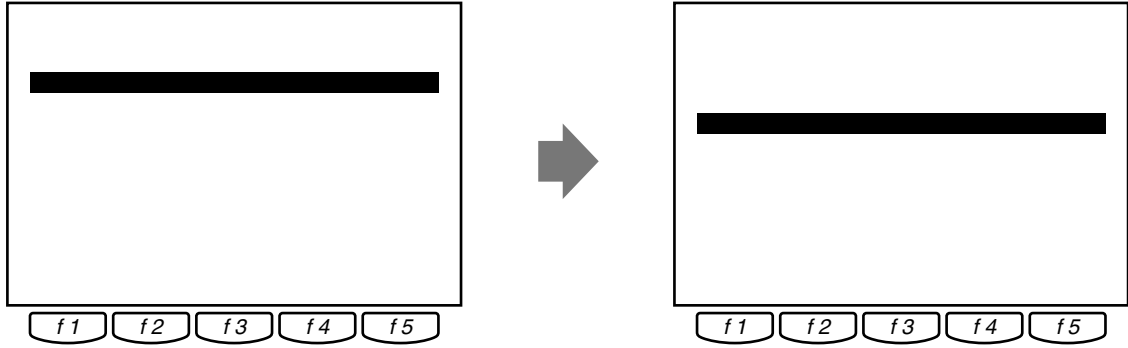
「初期メニュー」画面や「初期設定メニュー」画面などでは、ディスプレイの右上に日付と時刻が表示されます。

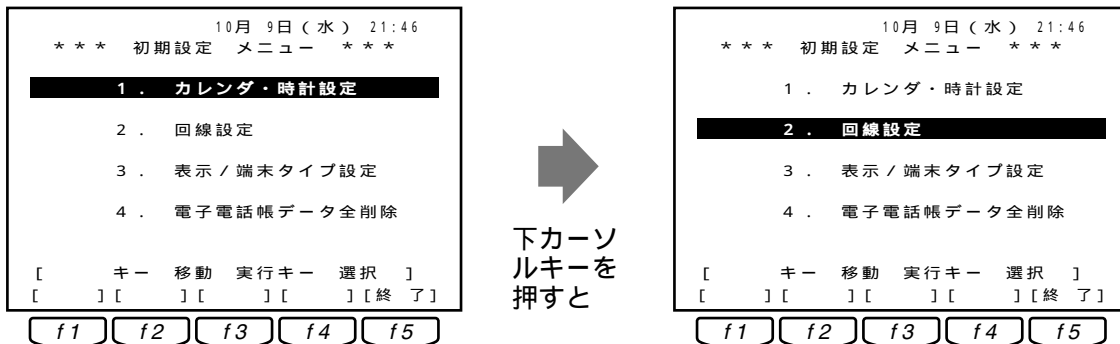


ファンクションキーの機能表示

画面の最下行には、ファンクションキーに割り付けられた機能が表示されます。例えば、「初期メニュー」画面が表示されているときに、**f1** キーを押すと「電子電話帳」画面、**f5** キーを押すと「初期設定メニュー」画面が表示されます。**f2** ~ **f4** キーには機能が割り付けられていません（押しても無視されます）。

カーソルの移動

例えば、「初期メニュー」画面から **f5** キー [設定] を押すと「初期設定メニュー」画面が表示されます。このとき「初期設定メニュー」画面では、「1. カレンダー・時計設定」が反転表示されています。この反転表示している部分、および点滅表示している部分をカーソルと呼びます。カーソルは、上下のカーソルキー（) を押すことで移動することができます。画面での表示は  となっています。



1 お使いになる前に

2 初期設定をする

3 電話を受ける

4 電子電話帳を登録する

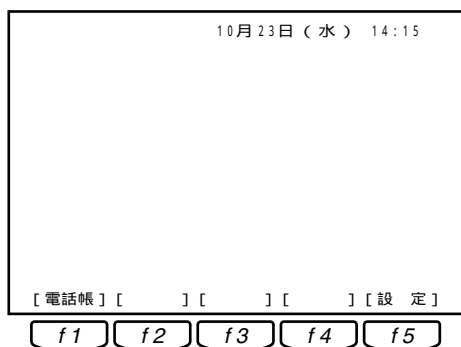
5 ICメモリカードを利用する

6 印刷する

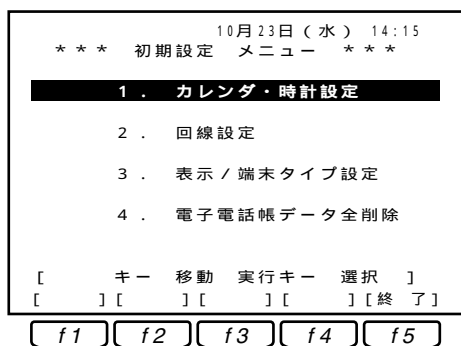
7 こんなときには

日付と時刻を合わせます

本体には、時計が内蔵されています。ディスプレイの右上に日付と時刻が表示されます。ご使用になる前に、日付と時刻を合わせてください。

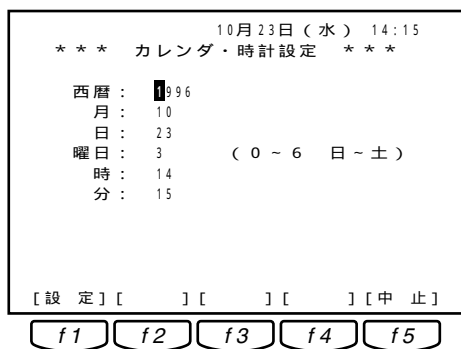
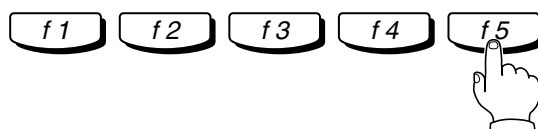


1 「初期メニュー」画面が表示されていることを確認します。



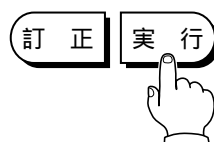
2 **f5** キー [設定] を押します。

「初期設定メニュー」画面が表示されます。

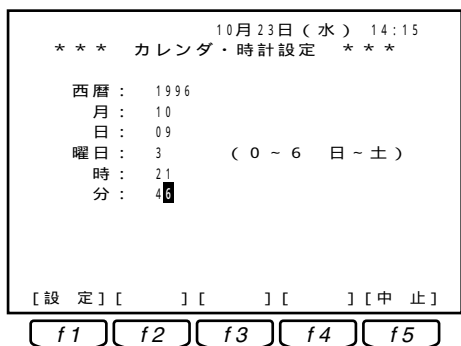


3 「1. カレンダー・時計設定」にカーソルがあることを確認して **実行** キーを押します。

「カレンダー・時計設定」画面が表示されます。

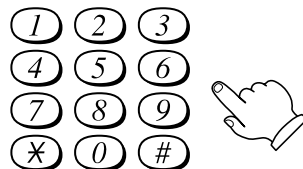


例 1996年10月9日(水)
午後9時46分



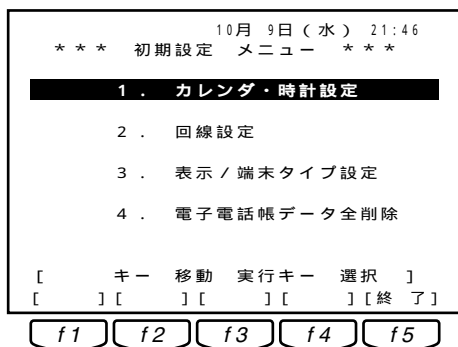
4 日付と時刻をダイヤルキーで入力します。

カーソルに従って、ダイヤルキーで入力します。
時刻は24時間制で入力します。



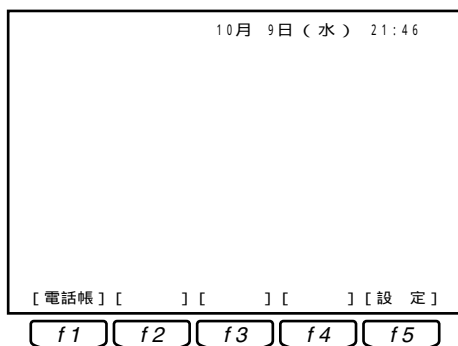
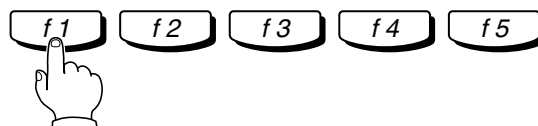
入力の形式

- 年: 西暦4桁で入力します。
- 月: 01~12の範囲で入力します。
- 日: 01~31の範囲で入力します。
- 曜日: 日は0、月は1、火は2、水は3、木は4、金は5、土は6と入力します。
- 時: 00~23の範囲で入力します。
- 分: 00~59の範囲で入力します。



5 f1 キー [設定] を押します。

「初期設定メニュー」画面に戻り、設定した日付と時刻がディスプレイの右上に表示されます。



6 終了 キーを押します。

「初期メニュー」画面に戻ります。



ワンポイント

入力を間違えたときは

間違えた箇所にカーソルを移動し、もう一度正しく入力し直します。**訂正** キーを押すとカーソル位置のデータを消去することもできます。入力できる値の範囲を間違えて入力したあと、**f1** キー [設定] を押した場合は、「初期設定メニュー」画面には戻りません。カーソルが間違えた箇所に移動しますので、もう一度正しく入力し直します。

操作を途中でやめるときは

f5 キー [中止] を押します。途中までの設定内容は無視され、「初期設定メニュー」画面に戻ります。**終了** キーを押すと、途中までの設定内容は無視され、「初期メニュー」画面に戻ります。

続けて他の設定をするときは

「初期設定メニュー」画面からは、続けて次の設定が行えます。

2. 回線設定 (●P 28)
3. 表示 / 端末タイプ設定 (●P 30)
4. 電子電話帳データ全削除 (●P 58)



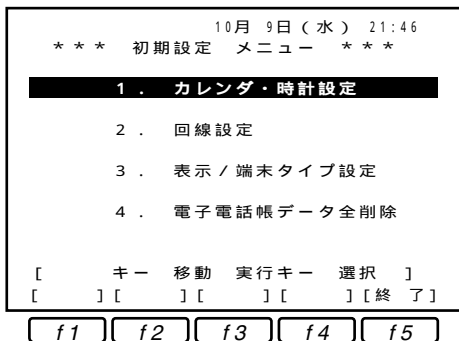
お知らせ

内蔵の時計は、あくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じたときは、時刻を設定し直してください。停電になっても、バックアップ用の単三乾電池により時計は止まりません。ただし、誤差が生じることがありますので、その場合は時刻を設定し直してください。

回線・モデムの設定

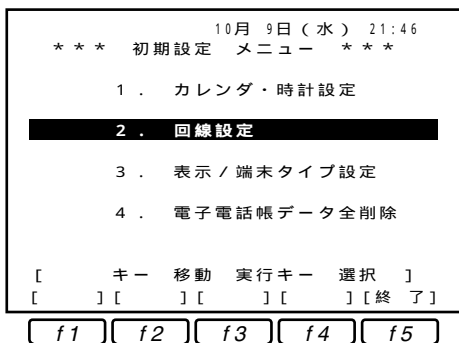
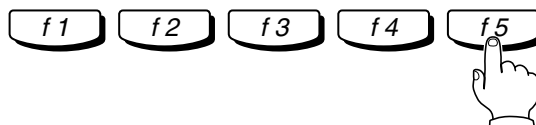
ご利用になる回線の種類（PBX収容の有無など）を設定します。設定が正しくないと正常に動作しませんので、工事担当者にご相談してください。

回線・モデムの設定は、はじめてご使用になるときのみ必要です。以降は、変更がなければ必要ありません。

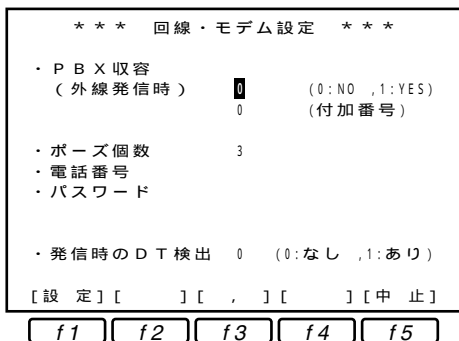
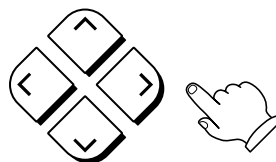


1 「初期メニュー」画面が表示されていることを確認して、**f5** キー [設定] を押します。

「初期設定メニュー」画面が表示されます。

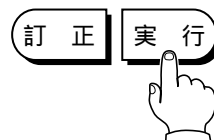


2 「2. 回線設定」にカーソルを移動します。



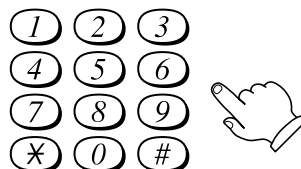
3 **実行** キーを押します。

「回線・モデム設定」画面が表示されます。



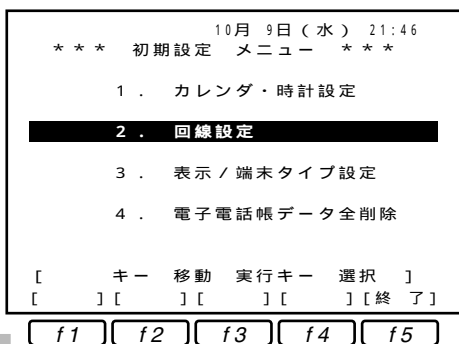
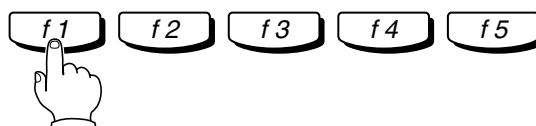
お買い求め時は、左記のように設定されています。

4 カーソルに従って、ダイヤルキーで数値を入力します。



5 **f1** キー [設定] を押します。

「初期設定メニュー」画面に戻ります。



6 **終了** キーを押します。

「初期メニュー」画面に戻ります。



お知らせ

ご使用に際し情報センタとの通信中に回線が頻繁に切れるようなときは、工事担当者による調整が必要になりますので、当社のサービス取扱所にご相談ください。



お願い

パスワードは、設定しないでください。誤ったパスワードが設定されると、本商品が正常に動作しなくなります。



ワンポイント

回線・モデムの設定値は

- PBX収容

お買い求め時は「0」に設定されています。ご利用になる回線がPBX回線の場合は「1」に設定してください。ただし、電子電話帳を利用して他の内線電話機を呼び出すことはできません。

- PBX付加番号

PBX接続時の外線接続番号と、それに続くポーズを **f3** キー（「,」）で設定します。ポーズを含め最大6桁まで設定できます。加入電話回線でご使用になる場合は、この設定は不要です。

- ポーズ个数

第2種パケット交換サービス（DDX-TP）などを利用して情報センタへ発信する場合は、ダイヤル休止時間（ポーズ）が必要です。情報センタとのデータ通信発信時に必要なポーズ時間を個数により設定します。ポーズは1個あたり約3秒で、0～5の範囲で設定します。お買い求め時は「3」に設定されています。

- 電話番号

本商品を接続する回線の加入電話番号を市外局番および「-」（ハイフン： **#** キーで入力）を含めて設定します。最大桁数は20です。（例：03 - 1234 - 5678）

- パスワード

設定しないでください。

- 発信時のDT検出

DTとはハンドセットを取りあげたときに聞こえる「ツー」という音です。お買い求め時は「0」に設定されています。キャッチホン サービスをご利用の場合は「0」（DT検出なし）でご使用してください。

入力を間違えたときは

間違えた箇所にカーソルを移動し、もう一度正しく入力し直します。 **訂正** キーを押すとカーソル位置のデータを消去することもできます。

操作を途中でやめるときは

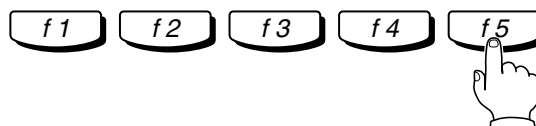
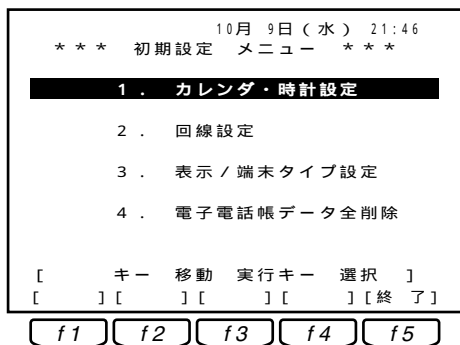
f5 キー [中止] を押します。途中までの設定内容は無視され、「初期設定メニュー」画面に戻ります。 **終了** キーを押すと、途中までの設定内容は無視され、「初期メニュー」画面に戻ります。

ディスプレイ表示などの設定

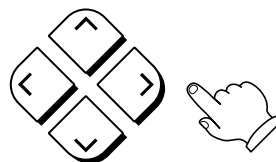
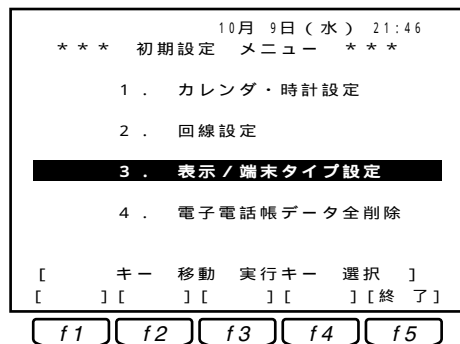
ハンドセットを取りあげたり、通信、キー入力操作が約5分間行われないと、ディスプレイのバックライトが自動的に消灯する節電機能がついています（バックライト制御）。また、バックライトを常時点灯するように設定することもできます。

1 「初期メニュー」画面が表示されていることを確認して、**f5** キー[設定]を押します。

「初期設定メニュー」画面が表示されます。

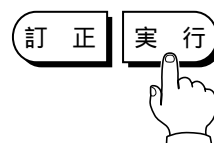
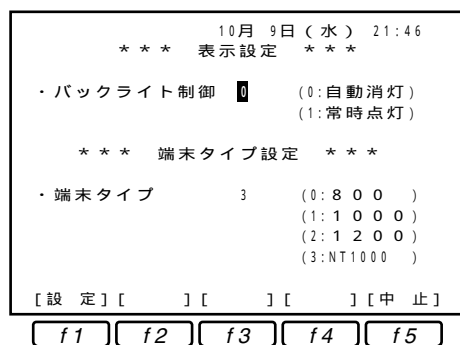


2 「3. 表示/端末タイプ設定」にカーソルを移動します。



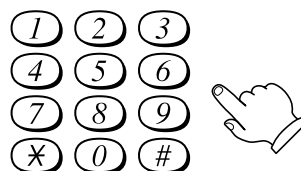
3 **実行** キーを押します。

「表示/端末タイプ設定」画面が表示されます。

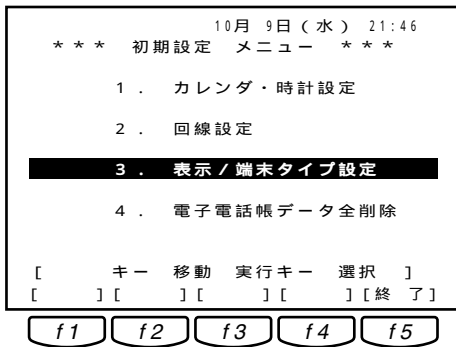


お買い求め時は、「0：自動消灯」に設定されています。

4 ダイヤルキーで①または①を入力します。

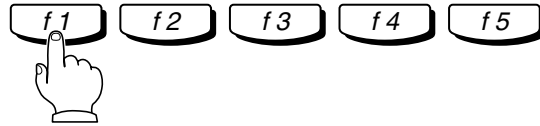


0：自動消灯
1：常時点灯



5 f1 キー [設定] を押します。

「初期設定メニュー」画面に戻ります。



6 終了 キーを押します。

「初期メニュー」画面に戻ります。



ワンポイント

操作を途中でやめるには

f5 キー [中止] を押します。途中までの設定内容は無視され、「初期設定メニュー」画面に戻ります。終了 キーを押すと、途中までの設定内容は無視され、「初期メニュー」画面に戻ります。

STOP お願い

通常は、端末タイプの変更する必要はありません。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
/

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

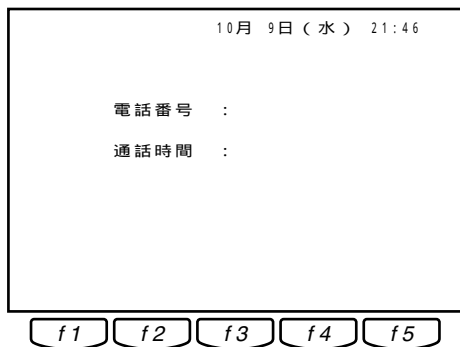
5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

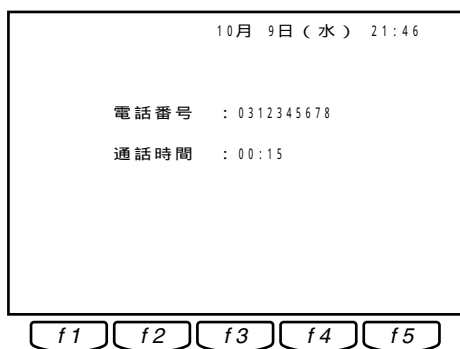
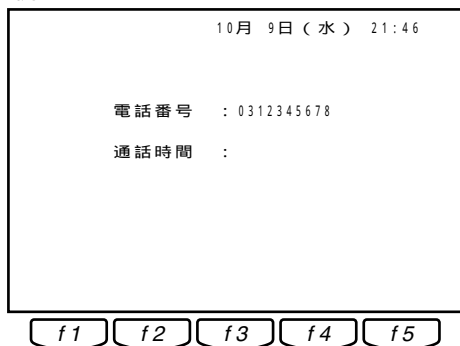
7
こ
ん
な
と
き
に
は

電話をかけるには（発信）

本体または本体に接続した外部電話機から電話をかけることができます。



例 03-1234-5678



1 ハンドセットを取りあげます。

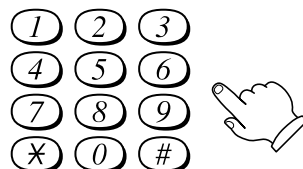
「電話機能」画面に切り替わります。「ツー」という発信音を確認してください。



外部電話機で電話をしているときは、画面は切り替わらず電話をかけることはできません。

2 電話番号をダイヤルキーで押します。

電話番号が表示されます。



3 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

前の画面に戻ります。





ワンポイント

ハンドセットを置いたままかけるには
(オンフックダイヤル)

ハンドセットを置いたまま **スピーカ**
キーを押します。

(「電話機能」画面が表示されます)

電話番号をダイヤルキーで押します。

相手の方の声がスピーカから聞こえたら、
ハンドセットを取りあげてお話し
します。

お話ししないで電話を聞くには(スピー
カ受話)

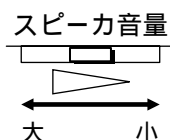
お話し中に **スピーカ** キーを押します。

ハンドセットを置いて、電話の内容を
聞きます。

電話を切るときは、 **スピーカ** キーを
押します。

スピーカの音量を調節するには(スピー
カ音量)

本体の左側面にあるスピーカ音量調節つ
まみで調節します。



お知らせ

通話時間の表示は、相手応答信号を受けてスタートします。しかし、フリーダイヤルなどの通話料金を着信側が負担する回線やPBX内線収容などで相手応答信号を受けられないときは、相手ダイヤル終了後約10秒でカウントを自動的にスタートしますので、正確な通話時間を表示しないことがあります。

スピーカ受話で相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。

画面に表示される電話番号は、20桁までです。20桁を超えるダイヤルは送出しますが表示されません。

通話時間は最大59分59秒「59：59」まで表示されます。これを超えたときは、「00：00」に戻ります。

ICメモリカードが差し込まれていると、「電話機能」画面が表示されないことがあります。

通話時間の表示は目安です。電話料金の請求と一致しないことがあります。

外部電話機の種類によっては、使用できないものがあります。

回線種別切替スイッチは正しく設定してください。設定が誤っていると、電話がかからなかったり、違う相手にかかったりします。

(●P21)

ハンドセットを取りあげて相手番号をダイヤル中に本体電源が切れた場合は、電話がかからなかったり違う相手にかかったりしますので、一度ハンドセットを置き、再度ハンドセットを取りあげて相手番号をダイヤルしてください。本体の電源が切れていてダイヤル中に電源が入った場合も同じ状態になります。

本体の電源が切れている場合は、相手の方との通話が本体および外部電話機の両方で聞こえます。

電話がかかってきたときは（着信）

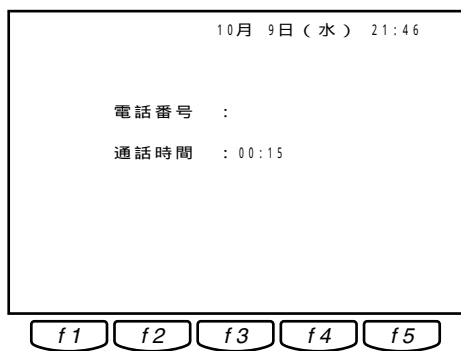
外から電話がかかってくると、本体と本体に接続している外部電話機の着信音が鳴ります。どちらの電話機でも電話を受けることができます。

1 着信音が鳴ります。



2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話してください。

「電話機能」画面に切り替わります。通話時間が表示されます。



3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

前の画面に戻ります。



ワンポイント

相手を確認してから電話に出るには

着信音が鳴ります。

ハンドセットを置いたまま **スピーカ**

キーを押します。

相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しします。

いたずら電話などで、お話ししないでそのまま電話を切りたいときには、ハンドセットを取らずにもう一度 **スピーカ** キーを押せば電話を切ることができます。

着信音量を切り替えるには

本体の右側面にある呼出音量切替スイッチで「大」「小」の2段階に切り替えられます。



お知らせ

本体の電源が切れている場合は、相手の方との通話が本体および外部電話機の両方で聞こえます。

相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときに保留します。保留中は、相手の方へは保留メロディが流れます。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 **保留** キーを押します。

相手の方に保留メロディが流れます。スピーカからも保留メロディが聞こえます。



保留メロディ...ブラームスの子守歌

3 再び出るときは、**保留** キーを押して、相手の方とお話してください。



ワンポイント

保留にしたあと、ハンドセットを置いたときは
ハンドセットを取りあげて、外の相手の方とお話することができます。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
/

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

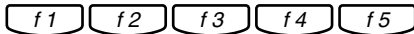
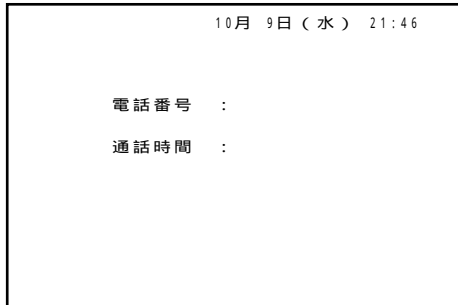
5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

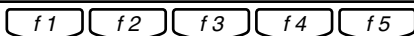
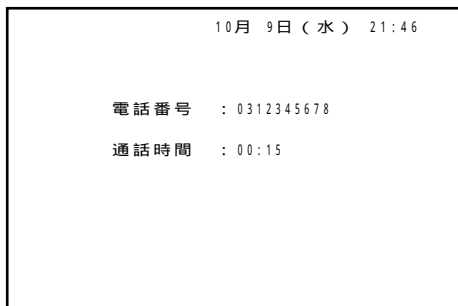
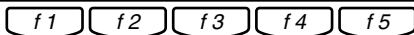
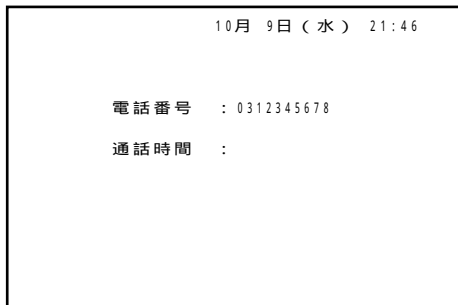
7
こ
ん
な
と
き
に
は

同じ相手にかかけ直すには(再ダイヤル)

最後にかけた相手の方に **再ダイヤル** キーを押してもう一度かけ直すことができます。お話し中などでかけ直すときなどに便利です。



例 03-1234-5678



1 ハンドセットを取りあげます。

「電話機能」画面に切り替わります。「ツ」という発信音を確認してください。



2 **再ダイヤル** キーを押します。

電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。



3 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。



4 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。

前の画面に戻ります。



ワンポイント

ハンドセットを置いたまま再ダイヤルするには(オンフックダイヤル)

ハンドセットを置いたまま **スピーカ** キーを押します。

(「電話機能」画面が表示されます)

再ダイヤル キーを押します。

相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しします。

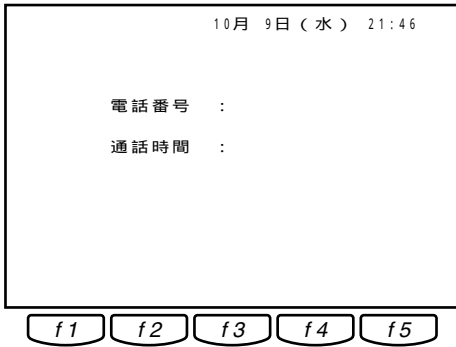
再ダイヤルを中止するには

ハンドセットを取りあげてかけたときはハンドセットを置きます。

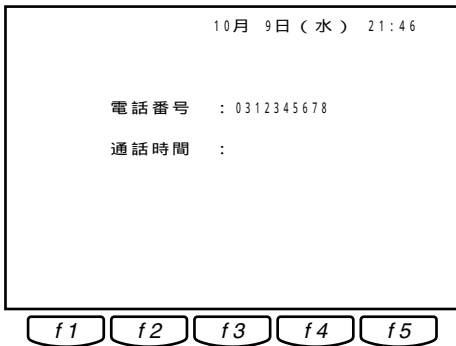
オンフックダイヤルのときは **スピーカ** キーを押します。

プッシュホンサービスを利用するには (DP PB切替)

ダイヤル回線をご使用の場合でも、相手呼び出したあとに **(#)** キーを押すことによりプッシュホンサービスをご利用になれます。ただし、停電時のDP PB切替はできません。



例 03-1234-5678



ワンポイント

プッシュホンサービスの種類

- クレジット通話サービス
- ポケットベルサービス
- 銀行ANSERサービス
- 留守番電話へのリモコン操作 など



お知らせ

(#) キーを使ってもサービスを受けられない場合があります。各サービス機関にお問い合わせください。

1 ハンドセットを取りあげます。

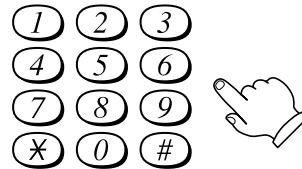
「電話機能」画面に切り替わります。「ツー」という発信音を確認してください。



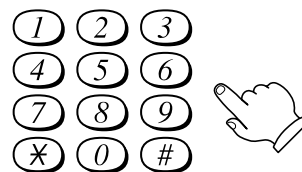
ハンドセットを取りあげないときは、**(スピーカ)** キーを押します。

2 電話番号をダイヤルキーで押します。

電話番号が表示されます。

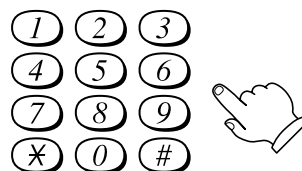


3 ダイヤル回線をご使用の場合は、電話が繋がったら、**(#)** キーを押します。



プッシュ回線をご利用の場合は、**(#)** キーを押す必要はありません。

4 必要なダイヤルキーを押します。



1 前に
お使いになる

2 初期設定を
する

3 電話をかける /
受ける

4 電子電話帳を
登録する

5 ICメモリカード
を利用する

6 印刷する

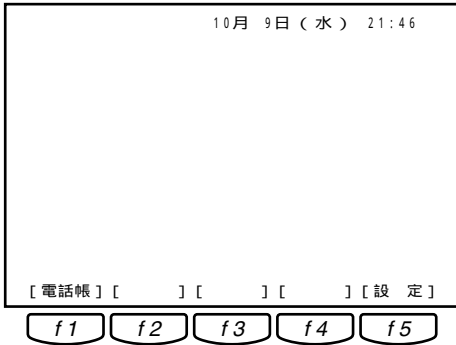
7 こんなときには

電子電話帳で電話をかけるには

電子電話帳に登録してある相手先に自動的にダイヤルします。

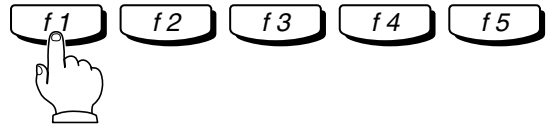
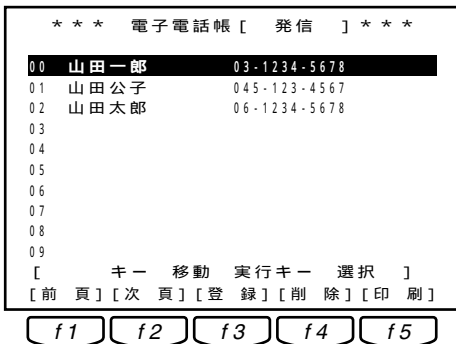
電子電話帳で電話をかけるには、あらかじめ電子電話帳への登録を行ってください。(P40)

1 初期メニュー画面が表示されていることを確認します。

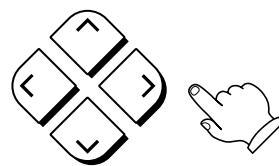
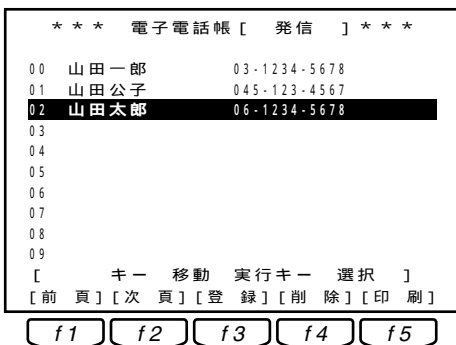


2 **f1** キー [電話帳] を押します。

「電子電話帳 [発信]」画面が表示されます。



3 呼び出したい相手先にカーソルを移動します。

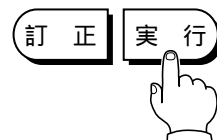
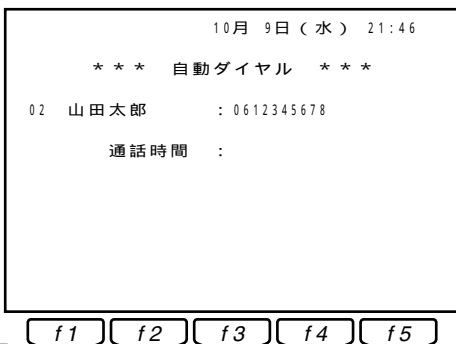


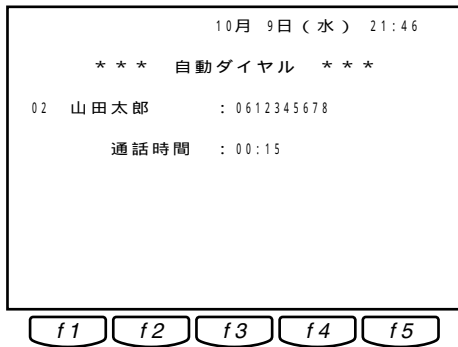
呼び出したい相手先がないときは、**f1** キー [前頁] または **f2** キー [次頁] を押して、呼び出したい相手先をさがしてからカーソルを移動します。

4 **実行** キーを押します。

「自動ダイヤル」画面に切り替わり、自動的にダイヤルされます。

相手先と電話番号が表示されます。





5 相手の方が出たら、ハンドセットを取りあげてお話しください。

通話時間が表示されます。



6 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

「電子電話帳 [発信]」画面に戻ります。



お知らせ

通話時間は最大59分59秒「59:59」まで表示されます。これを超えたときは、「00:00」に戻ります。通話時間の表示は目安です。電話料金の請求と一致しないことがあります。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
ノ

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

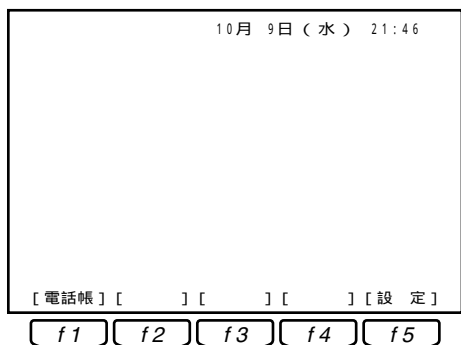
7
こ
ん
な
と
き
に
は

電子電話帳を登録するには

電話をよくかける相手先を電子電話帳に登録しておくとう便利です。電子電話帳に登録した相手先の名前を検索するだけで自動的にダイヤルできます。電子電話帳には最大100件（1画面に10件で10画面分）まで登録できます。

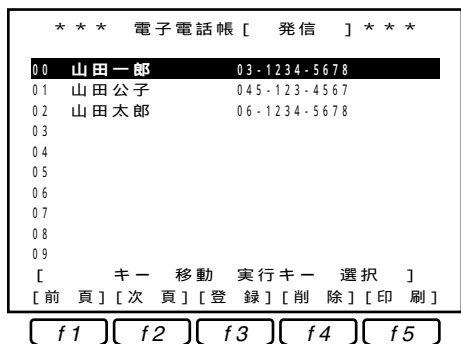
名前を登録する

1 「初期メニュー」画面が表示されていることを確認します。



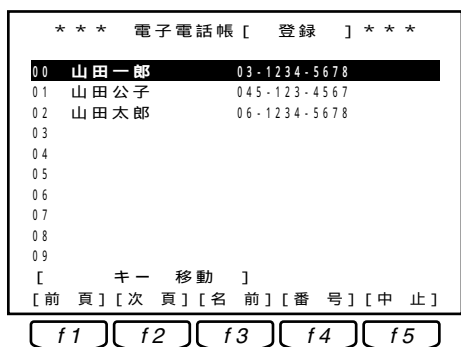
2 **f1** キー [電話帳] を押します。

「電子電話帳 [発信]」画面が表示されます。



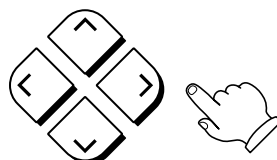
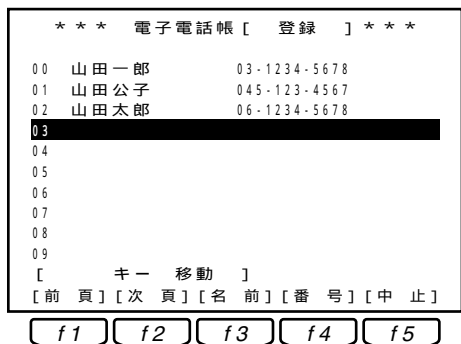
3 **f3** キー [登録] を押します。

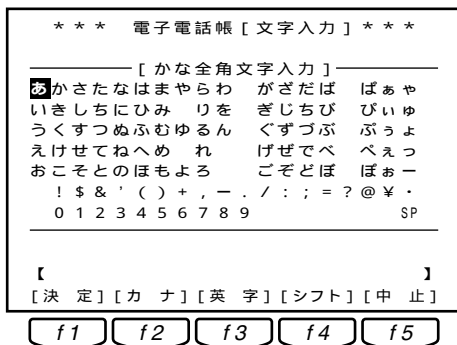
「電子電話帳 [登録]」画面が表示されます。



4 登録する行にカーソルを移動します。

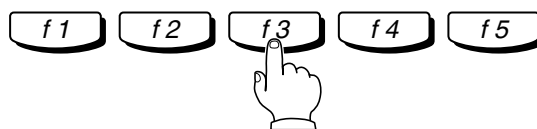
空いている行にカーソルを移動します。





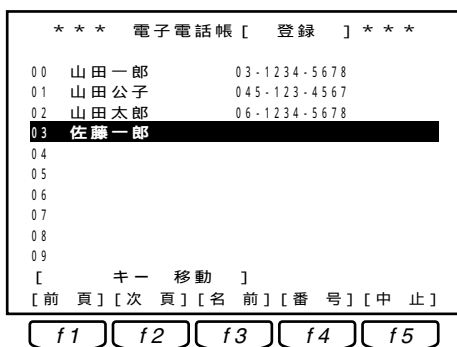
5 f3 キー [名前] を押します。

「電子電話帳 [文字入力]」画面が表示されます。



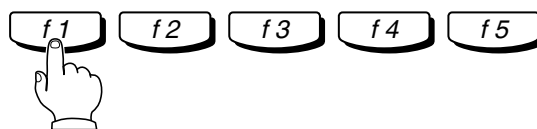
6 相手先の名前を入力します。

例えば、「佐藤一郎」を入力します。(●P46)



7 f1 キー [決定] を押します。

名前が登録され、「電子電話帳 [登録]」画面が表示されます。



ワンポイント

登録できる文字数と文字種

文字種：全角および半角の英大文字・英小文字・数字・カタカナ
全角のひらがな・漢字（JIS第1水準、JIS第2水準）

文字数：全角だけで最大7文字
半角だけで最大14文字

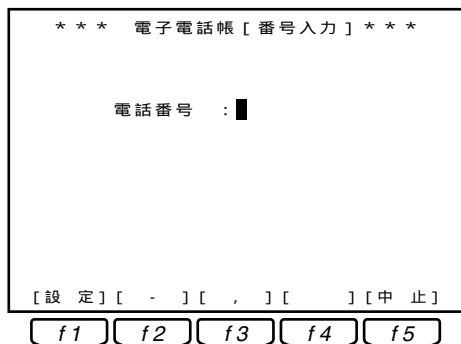
登録画面を切り替えるには

登録画面は、全部で10画面あります。

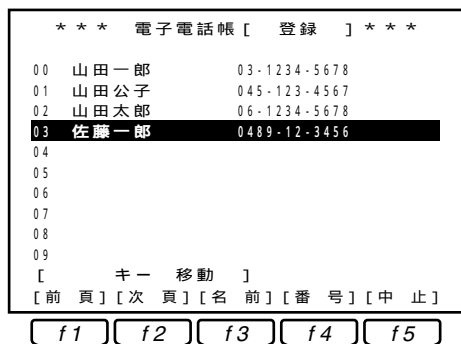
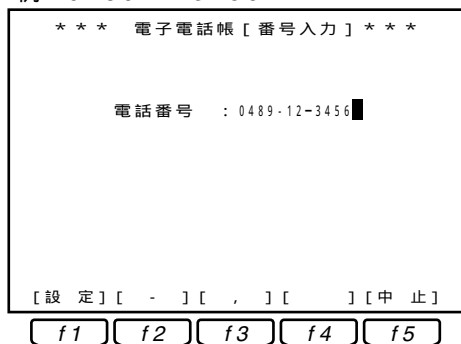
前の画面に戻るときは **f1** キー [前頁] を押します。次の画面を表示するときには **f2** キー [次頁] を押します。

電子電話帳を登録するには

電話番号を登録する

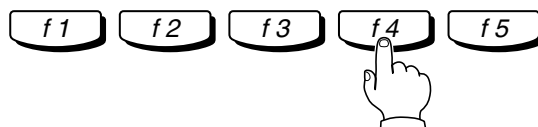


例 0489-12-3456



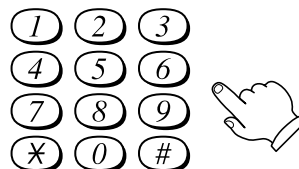
8 **f4** キー [番号] を押します。

「電子電話帳 [番号入力]」画面が表示されます。



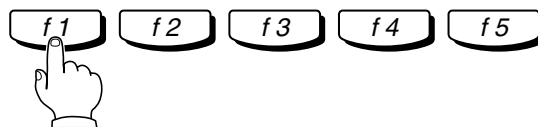
9 相手先の電話番号をダイヤルキーで入力します。

電話番号は、最大20桁（「-」、「,」を含む）まで入力できます。



10 **f1** キー [設定] を押します。

電話番号が登録され、「電子電話帳 [登録]」画面に戻ります。



1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

7
こ
ん
な
と
き
に
は

11 **終了** キーを押します。

「初期メニュー」画面に戻ります。



ワンポイント

特殊文字と使用目的

ダイヤル区切り記号「-」を入力するには、**f2** キー[-]を押します。ポーズ記号「,」を入力するには、**f3** キー[,]を押します。ポーズ記号は1個あたり約3秒です。

入力した文字や数字を修正するには
登録前に修正する(●P52)
登録を途中でやめる(●P53)
また、電話番号登録を途中でやめるには、「電子電話帳[番号入力]」画面で**f5** キー[中止]を押します。途中までの設定内容を無視して、「電子電話帳[登録]」画面に戻ります。

設定内容を印刷するには
「電子電話帳[発信]」画面で**f5** キー[印刷]を押します。画面の内容が感熱ロール紙に印刷されます。

続けて入力するときは
手順4から10を繰り返します。

STOP お願い

間違い電話を防ぐために、電話番号を登録するときは間違いのないように入力してください。

名前の入力方法

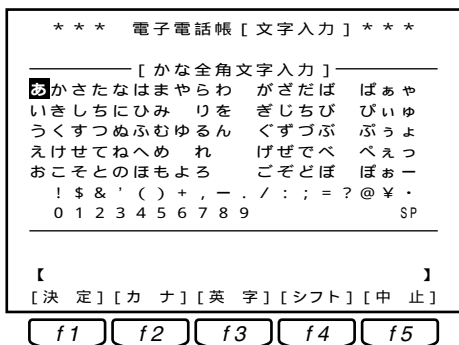
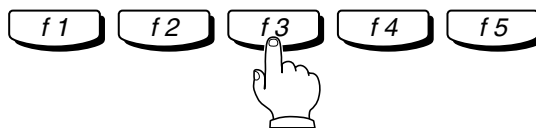
電子電話帳の名前には、全角および半角の英字（大文字 / 小文字）・数字・カタカナ・記号、全角の漢字（JIS第1水準文字 / JIS第2水準文字）・ひらがなが登録できます。

ひらがな（全角）の入力方法

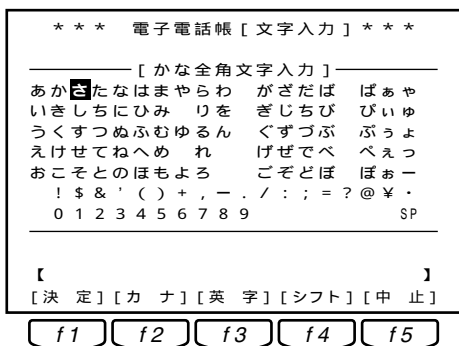
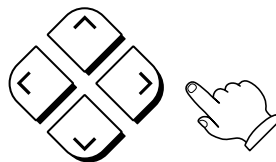
例 「さとう」と入力するとき

1 「電子電話帳 [登録]」画面で **f3** キー [名前] を押します。

[かな全角文字入力]画面が表示されます。

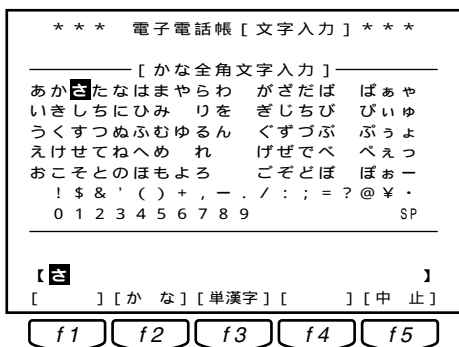
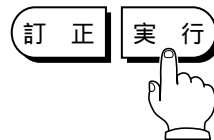


2 カーソルを「さ」に移動します。



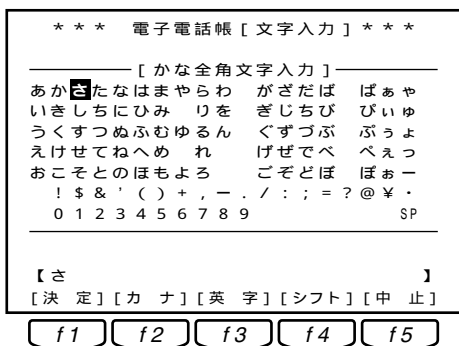
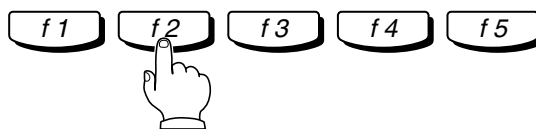
3 **実行** キーを押します。

13行目に、選択した「さ」が表示されます。



4 **f2** キー [かな] を押します。

「さ」が確定します。



1
前に
お使いになる

2
する
初期設定を

3
受ける
電話をかける／

4
登録する
電子電話帳を

5
を利用する
ICメモリカード

6
印刷する

7
こんなときには

```
*** 電子電話帳 [文字入力] ***
----- [かな全角文字入力] -----
あかさたなはまやらわ   がざだば   ばあや
いきしちにひみ   りを   ぎじちび   びいゆ
くすつぬふむゆるん   くずづぶ   ぶうよ
えけせてねへめ   れ   げぜでべ   べえっ
おそとのほもよろ   ごぞどほ   ぼあー
! $ & ' ( ) + , - . / : ; = ? @ ¥ ·
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9   SP
```

【さとう】
[決定][カナ][英字][シフト][中止]

f1 f2 f3 f4 f5

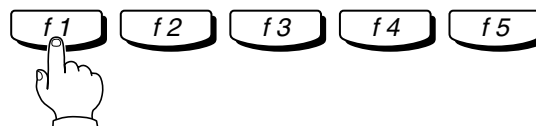
```
*** 電子電話帳 [登録] ***
00 さとう
01
02
03
04
05
06
07
08
09
[キー移動]
[前頁][次頁][名前][番号][中止]
```

f1 f2 f3 f4 f5

5 同様にして手順2～4を繰り返し、「と」と「う」を入力します。

6 f1 キー [決定] を押します。

「電子電話帳 [登録]」画面に戻り、「さとう」が登録されます。



ワンポイント

スペースを入力するには
SPを選びます。

入力した文字や数字を修正するには
登録前に修正する (●P52)
登録を途中でやめる (●P53)

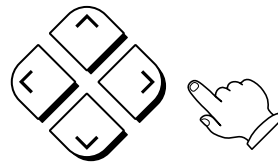
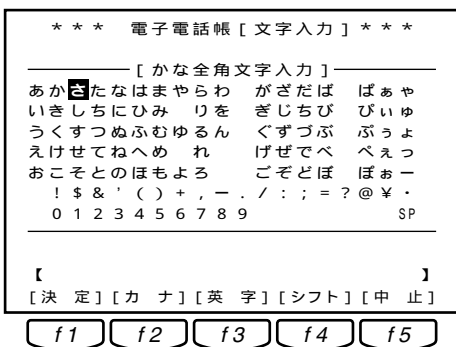
名前の入力方法

漢字の入力方法

漢字1文字ごとに読みをかな入力し、変換します。漢字1文字に対して入力できる読みは6文字までです。

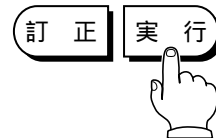
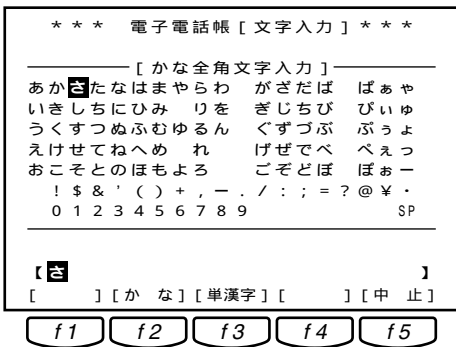
例 「佐藤一郎」と入力するとき

1 [かな全角文字入力]画面で、カーソルを「さ」に移動します。



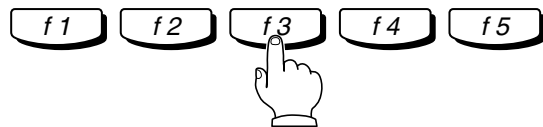
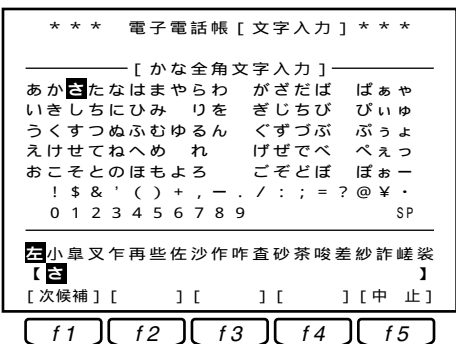
2 [実行]キーを押します。

13行目に、選択した「さ」が表示されます。



3 [f3]キー [単漢字]を押します。

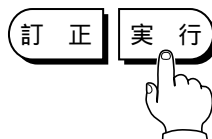
12行目に、読みが「さ」の漢字が表示されます。



入力したい漢字が表示されないときは、表示されるまで [f1]キー [次候補]を繰り返し押します。

4 カーソルを「佐」に移動し、**実行**キーを押します。

13行目に、選択した「佐」が表示されます。



5 同様にして手順1～4を繰り返し、「藤」「一」「郎」を入力します。

```

*** 電子電話帳 [文字入力] ***

----- [かな全角文字入力] -----
あ か さ た な は ま や ら わ   が ざ だ ば   ば あ や
い き し ち に ひ み   り を   ぎ じ ち び   び い ゆ
う く す つ ぬ ふ む ゆ る ん   ぐ ず づ ぶ   ぶ う よ
え け せ て ね へ め   れ   げ ぜ で べ   べ え つ
お こ そ の ほ も よ ろ   ご ぞ ど ぼ   ぼ あ ー
! $ & ' ( ) + , - . / : ; = ? @ ¥ ·
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9                               SP

【 佐                               】
[決 定][カ ナ][英 字][シフト][中 止]

f1 f2 f3 f4 f5
  
```

```

*** 電子電話帳 [文字入力] ***

----- [かな全角文字入力] -----
あ か さ た な は ま や ら わ   が ざ だ ば   ば あ や
い き し ち に ひ み   り を   ぎ じ ち び   び い ゆ
う く す つ ぬ ふ む ゆ る ん   ぐ ず づ ぶ   ぶ う よ
え け せ て ね へ め   れ   げ ぜ で べ   べ え つ
お こ そ の ほ も よ ろ   ご ぞ ど ぼ   ぼ あ ー
! $ & ' ( ) + , - . / : ; = ? @ ¥ ·
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9                               SP

【 佐 藤 一 郎                               】
[決 定][カ ナ][英 字][シフト][中 止]

f1 f2 f3 f4 f5
  
```

```

*** 電子電話帳 [登録] ***

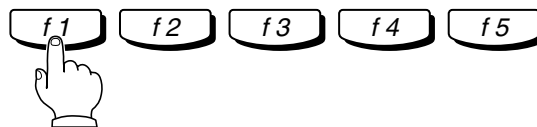
00 佐藤一郎
01
02
03
04
05
06
07
08
09

[ キー 移動 ]
[前 頁][次 頁][名 前][番 号][中 止]

f1 f2 f3 f4 f5
  
```

6 **f1**キー [決定] を押します。

「佐藤一郎」が登録され、「電子電話帳 [登録]」画面に戻ります。



ワンポイント

1画面に表示される漢字の候補は最大で20個です。候補文字が21個以上あるときは、**f1**キー [次候補] を押すことで表示できます。

スペースを入力するにはひらがなの入力方法の手順2でSPを選びます。(●P44)

入力した文字や数字を修正するには登録前に修正する(●P52)登録を途中でやめる(●P53)

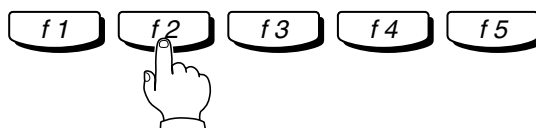
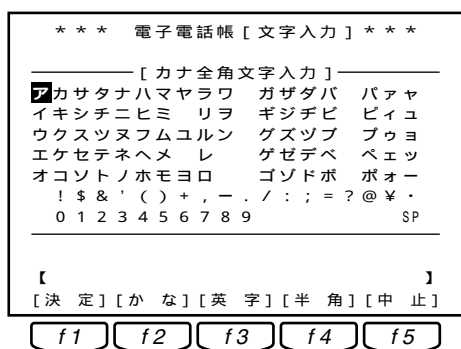
名前の入力方法

カタカナ（全角）の入力方法

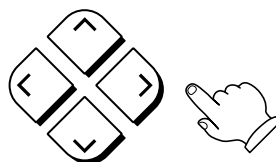
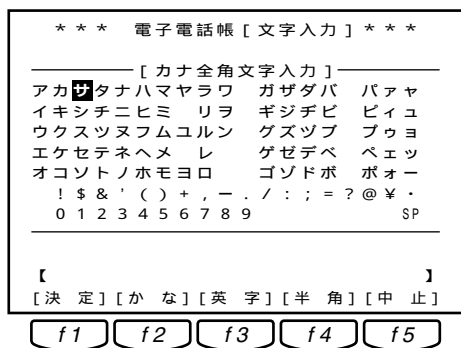
例 「サトウ」と入力するとき

1 [かな全角文字入力]画面で、**f2**キー
[カナ]を押します。

[カナ全角文字入力]画面が表示されます。

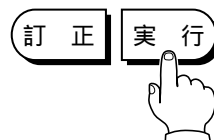
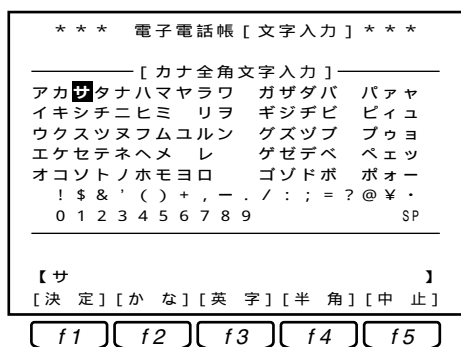


2 カーソルを「サ」に移動します。



3 **実行**キーを押します。

13行目に、選択した「サ」が表示されます。



1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
ノ

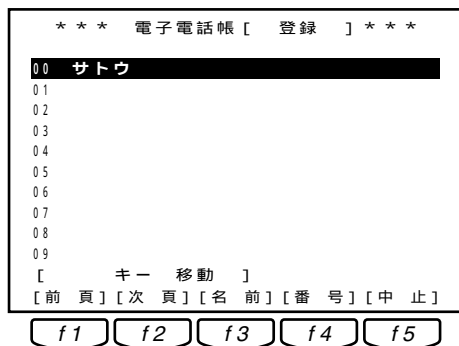
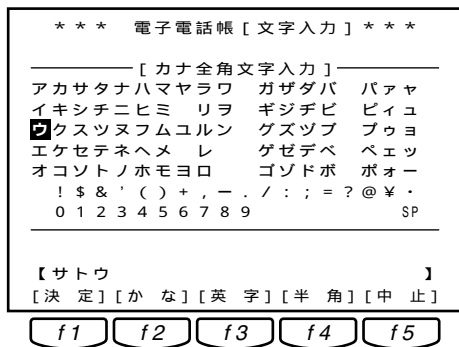
4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

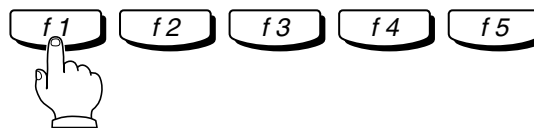
7
こ
ん
な
と
き
に
は

4 同様に手順2～3を繰り返し、「ト」「ウ」を入力します。



5 f1 キー [決定] を押します。

「電子電話帳 [登録]」画面に戻り、「サトウ」が登録されます。



ワンポイント

スペースを入力するには
SPを選びます。

入力した文字や数字を修正するには
登録前に修正する (●P52)
登録を途中でやめる (●P53)

他の画面を表示するには
f2、f3、f4 キーを押すと、それぞれ [かな全角文字入力] 画面、[英全角文字入力] 画面、[カナ半角文字入力] 画面が表示されます。

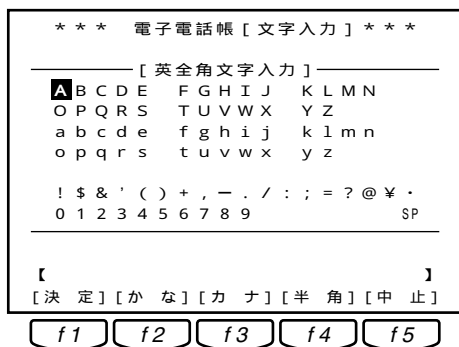
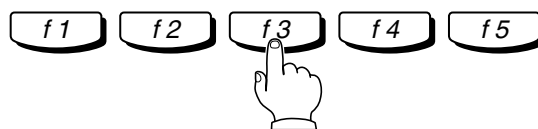
名前の入力方法

その他の文字の入力方法

英字（全角）の入力方法

1 [かな全角文字入力]画面で、**f3** キー [英字] を押します。

[英全角文字入力]画面が表示されます。

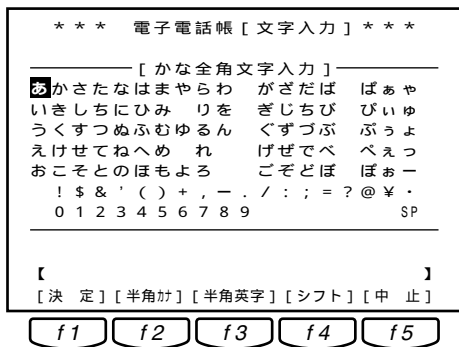
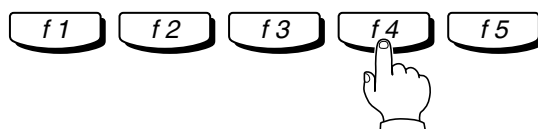


2 カタカナ（全角）の入力方法と同様に入力します。(P48)

カタカナ（半角）の入力方法

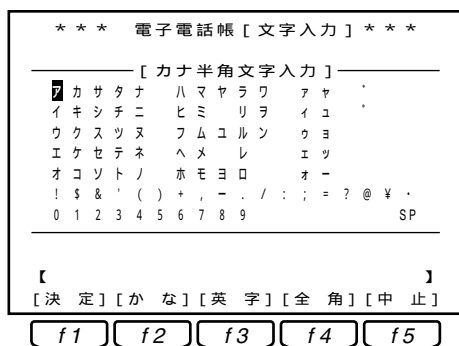
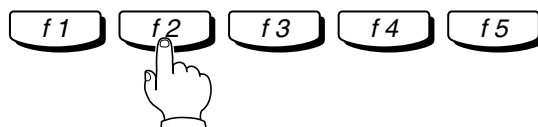
1 [かな全角文字入力]画面で、**f4** キー [シフト] を押します。

半角文字の入力指定の画面が表示されます。



2 **f2** キー [半角カナ] を押します。

[カナ半角文字入力]画面が表示されます。

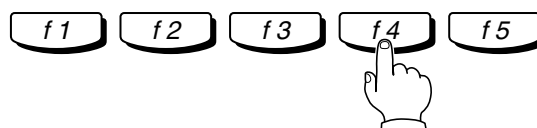


3 カタカナ（全角）の入力方法と同様に入力します。(P48)

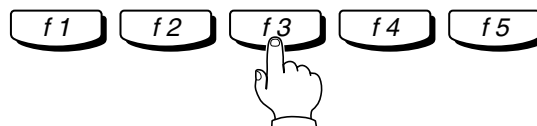
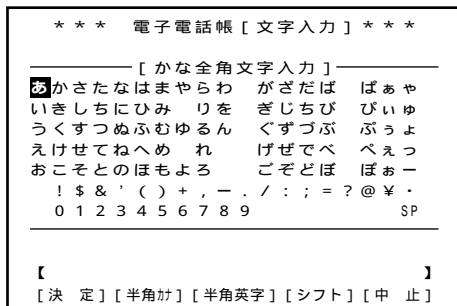
英字（半角）の入力方法

1 [かな全角文字入力]画面で、**f4**キー
[シフト]を押します。

半角文字の入力指定の画面が表示されます。

2 **f3**キー [半角英字]を押します。

[英半角文字入力]画面が表示されます。

3 カタカナ（全角）の入力方法と同様に
入力します。（P48）

ワンポイント

登録できる文字数と文字種

文字種：全角および半角の英大文字・英小文字・数字・カタカナ
全角のひらがな・漢字（JIS第1水準、JIS第2水準）文字数：全角だけで最大7文字
半角だけで最大14文字スペースを入力するには
SPを選びます。入力した文字や数字を修正するには
登録前に修正する（P52）
登録を途中でやめる（P53）

文字や数字の修正方法

電子電話帳へ登録する名前は、登録前に修正したり、登録をやめることができます。

登録前に修正する

訂正 キーを押してから再入力します。**訂正** キーを押すたびに、右端から1文字ずつ削除されます。

例 「サトウ」を「サイトウ」に修正するとき

*** 電子電話帳 [文字入力] ***

----- [カナ全角文字入力] -----

アカサタナハマヤラウ	ガザダバ	バァヤ
イキシニヒミ リラ	ギジデビ	ビュ
<input checked="" type="checkbox"/> クスツヌフムユルン	グズツブ	ブヨ
エケセテネヘメ レ	ゲゼデベ	ベエツ
オコソトノホモヨロ	ゴソドボ	ボォー

! \$ & ' () + , - . / : ; = ? @ ¥ ·
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 SP

【サトウ】

[決定][かな][英字][半角][中止]

f1 f2 f3 f4 f5

*** 電子電話帳 [文字入力] ***

----- [カナ全角文字入力] -----

アカサタナハマヤラウ	ガザダバ	バァヤ
イキシチニヒミ リラ	ギジデビ	ビュ
<input checked="" type="checkbox"/> クスツヌフムユルン	グズツブ	ブヨ
エケセテネヘメ レ	ゲゼデベ	ベエツ
オコソトノホモヨロ	ゴソドボ	ボォー

! \$ & ' () + , - . / : ; = ? @ ¥ ·
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 SP

【サト】

[決定][かな][英字][半角][中止]

f1 f2 f3 f4 f5

*** 電子電話帳 [文字入力] ***

----- [カナ全角文字入力] -----

アカサタナハマヤラウ	ガザダバ	バァヤ
イキシチニヒミ リラ	ギジデビ	ビュ
<input checked="" type="checkbox"/> クスツヌフムユルン	グズツブ	ブヨ
エケセテネヘメ レ	ゲゼデベ	ベエツ
オコソトノホモヨロ	ゴソドボ	ボォー

! \$ & ' () + , - . / : ; = ? @ ¥ ·
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 SP

【サ】

[決定][かな][英字][半角][中止]

f1 f2 f3 f4 f5

*** 電子電話帳 [文字入力] ***

----- [カナ全角文字入力] -----

アカサタナハマヤラウ	ガザダバ	バァヤ
イキシチニヒミ リラ	ギジデビ	ビュ
<input checked="" type="checkbox"/> クスツヌフムユルン	グズツブ	ブヨ
エケセテネヘメ レ	ゲゼデベ	ベエツ
オコソトノホモヨロ	ゴソドボ	ボォー

! \$ & ' () + , - . / : ; = ? @ ¥ ·
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 SP

【サイトウ】

[決定][かな][英字][半角][中止]

f1 f2 f3 f4 f5

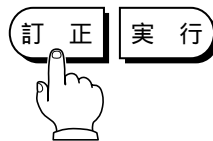
1 **訂正** キーを押します。

右端の1文字「ウ」が削除されます。



2 もう一度、**訂正** キーを押します。

右端の1文字「ト」が削除されます。



3 カタカナの入力方法に従って「イ」「ト」「ウ」と入力します。(P48)

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
／

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

7
こ
ん
な
と
き
に
は

登録を途中でやめる

例 「サトウ」の登録をやめるとき

*** 電子電話帳 [文字入力] ***

----- [カナ全角文字入力] -----

アカ	サタ	ナハマ	ヤラ	ワ	ガ	ザ	バ	バ	ァ	ャ							
イ	キシ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ	ラ	ギ	ジ	チ	ビ	ィ	ュ				
<input checked="" type="checkbox"/>	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル	ン	グ	ズ	ツ	ブ	ウ	ョ		
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	レ	ゲ	ゼ	デ	ベ	ベ	ェ	ッ			
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ゴ	ゾ	ド	ボ	ォ	ー			
!	\$	&	'	()	+	,	-	.	/	:	;	=	?	@	¥	·
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9								SP

【サトウ】

[決定] [かな] [英字] [半角] [中止]

f1 f2 f3 f4 f5

*** 電子電話帳 [登録] ***

00	山田一郎	03-1234-5678
01	山田公子	045-123-4567
02	山田太郎	06-1234-5678
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		

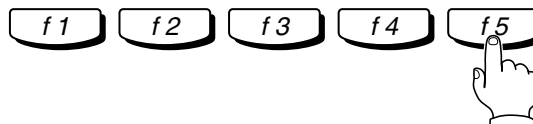
[キー 移動]

[前頁] [次頁] [名前] [番号] [中止]

f1 f2 f3 f4 f5

1 f5 キー [中止] を押します。

13行目に入力した文字は登録されず、「電子電話帳 [登録]」画面に戻ります。

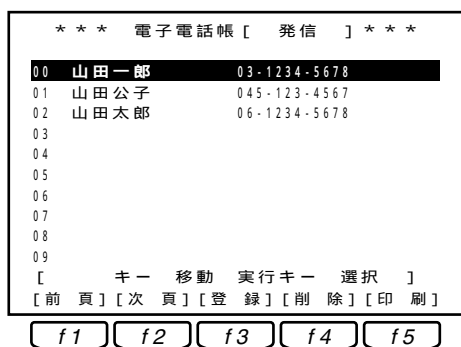


電子電話帳を訂正するには

電子電話帳に登録してある相手先の名前と電話番号は、修正したり、削除することができます。削除では、1行ずつ削除したり、すべての登録内容を一度の操作で削除することができます。

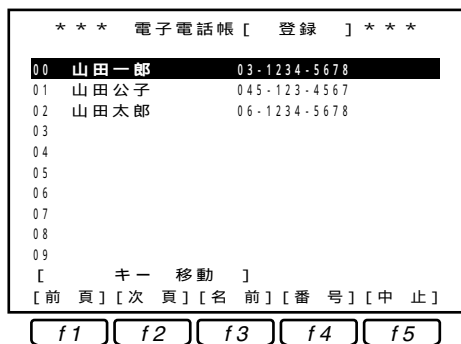
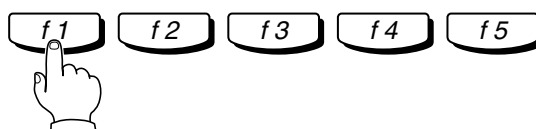
登録内容を修正する

例 名前を修正するとき



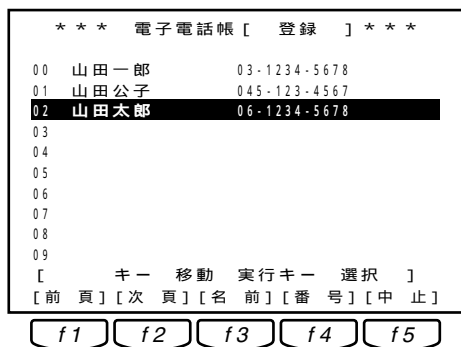
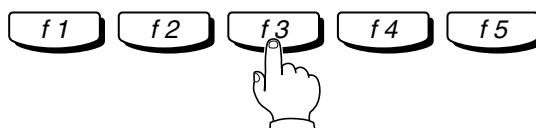
1 「初期メニュー」画面が表示されていることを確認して、**f1** キー [電話帳] を押します。

「電子電話帳 [発信]」画面が表示されます。

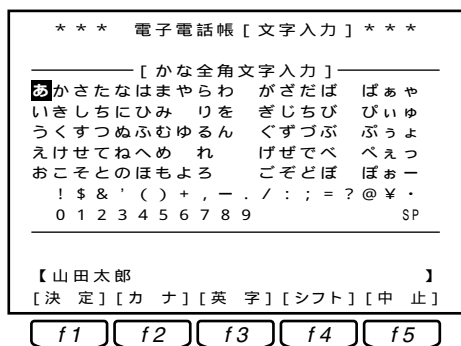
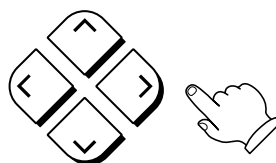


2 **f3** キー [登録] を押します。

「電子電話帳 [登録]」画面が表示されます。

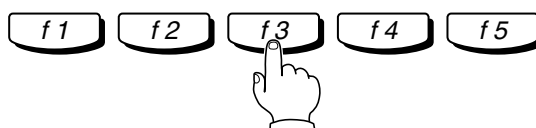


3 修正する行にカーソルを移動します。



4 **f3** キー [名前] を押します。

「電子電話帳 [文字入力]」画面が表示されます。



1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

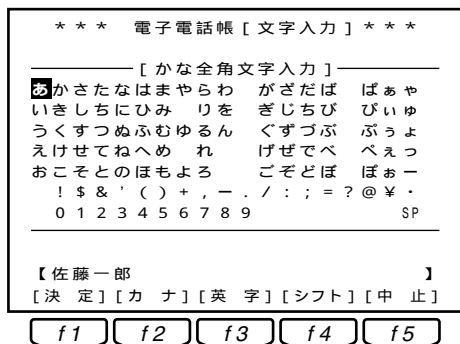
3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
/

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

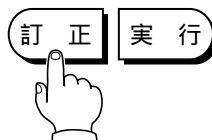
6
印
刷
す
る

7
こ
ん
な
と
き
に
は

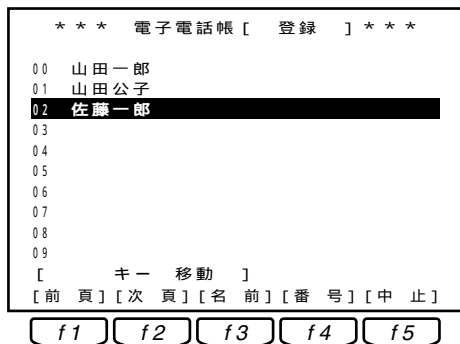


5 **訂正** キーを押して文字を削除し、再入力します。

訂正 キーを押すたびに、右端から1文字ずつ削除されます。

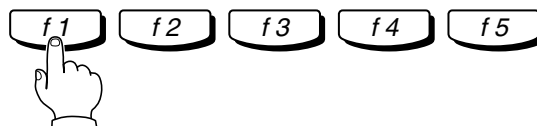


名前の入力方法 (P44)



6 **f1** キー [決定] を押します。

修正した名前が登録されます。
「電子電話帳 [登録]」画面に戻ります。



7 **終了** キーを押します。

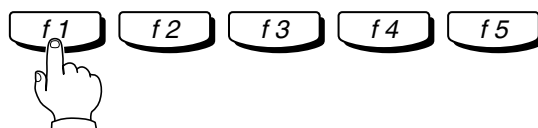
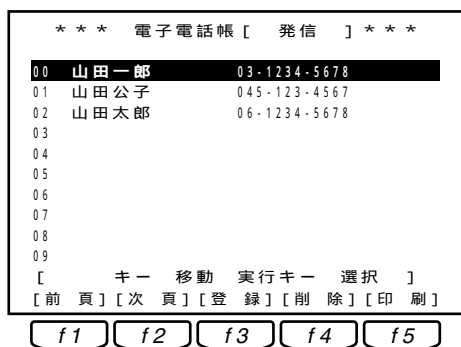
「初期メニュー」画面に戻ります。



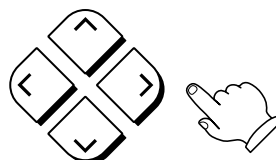
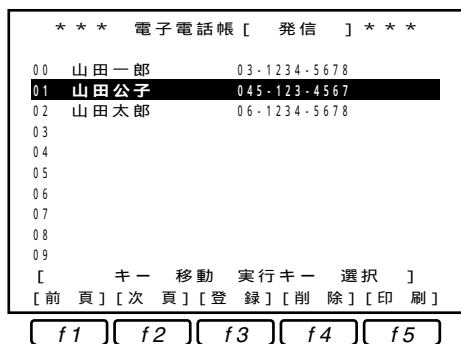
個別に登録を削除する

1 「初期メニュー」画面が表示されていることを確認して、**f1** キー [電話帳] を押します。

「電子電話帳 [発信]」画面が表示されます。

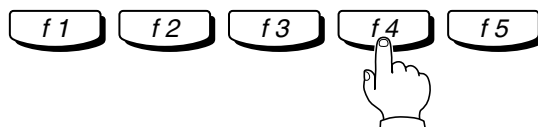
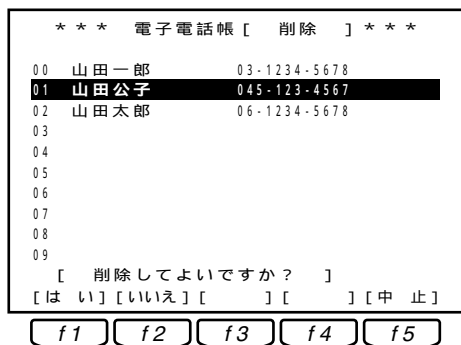


2 削除する行にカーソルを移動します。



3 **f4** キー [削除] を押します。

削除を確認するメッセージが表示されます。



1
前に
お使いになる

2
する
初期設定を

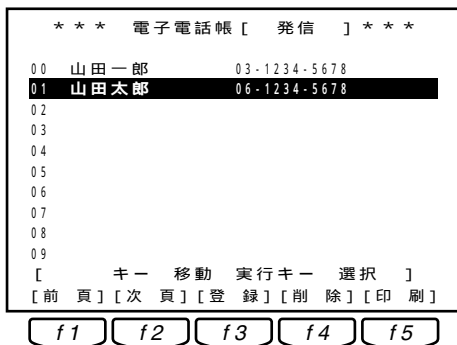
3
受ける
電話をかける／

4
登録する
電子電話帳を

5
を利用する
ICメモリカード

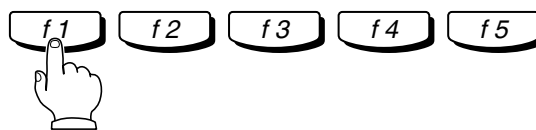
6
印刷する

7
こんなときには



4 **f1** キー [はい] を押します。

削除が行われ、1行繰り上がります。
「電子電話帳 [発信]」画面に戻ります。



5 **終了** キーを押します。

「初期メニュー」画面に戻ります。



ワンポイント

登録画面を切り替えるには
登録画面は、全部で10画面あります。
前の画面に戻るときは **f1** キー [前頁] を押します。次の画面を表示するときには **f2** キー [次頁] を押します。

削除をやめるときには
手順4で **f2** キー [いいえ] または **f5** キー [中止] を押します。「電子電話帳 [発信]」画面に戻ります。

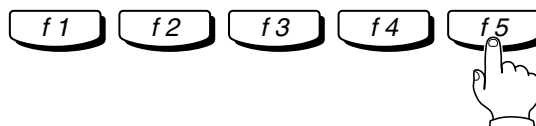
電子電話帳を訂正するには

すべての登録を削除する

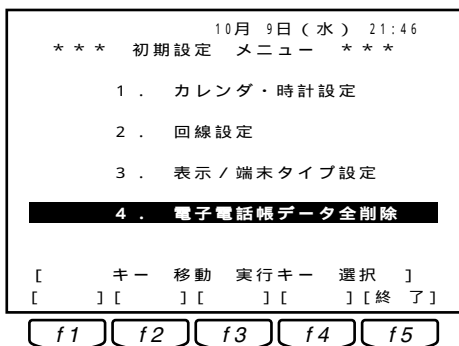
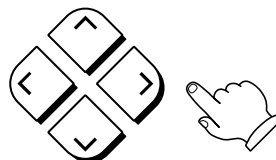
電子電話帳の内容を一度の操作で削除します。

1 「初期メニュー」画面が表示されていることを確認して、**f5** キー [設定] を押します。

「初期設定メニュー」画面が表示されます。

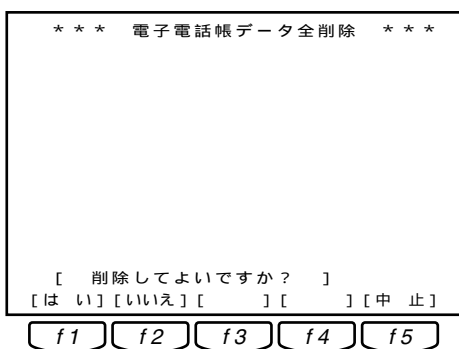
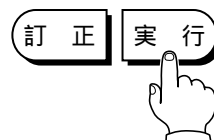


2 カーソルを「4. 電子電話帳データ全削除」に移動します。



3 **実行** キーを押します。

「電子電話帳データ全削除」画面が表示されます。削除を確認するメッセージが表示されます。



1
前に
お使いになる

2
する
初期設定を

3
受ける
電話をかける／

4
登録する
電子電話帳を

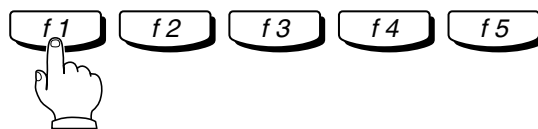
5
を利用する
ICメモリカード

6
印刷する

7
こんなときには

4 キー [はい] を押します。

電子電話帳に登録されているすべてのデータが削除され、「初期設定メニュー」画面に戻ります。





5 キーを押します。

「初期メニュー」画面に戻ります。



ワンポイント

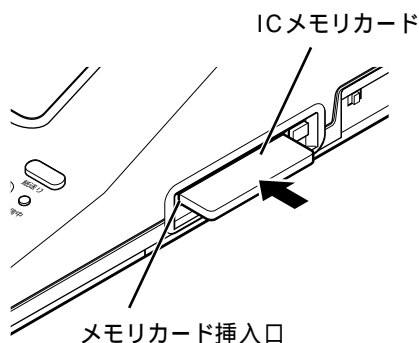
削除をやめるには
手順4で  キー [いいえ] または
 キー [中止] を押します。「初
期設定メニュー」画面に戻ります。

ICメモリカードを利用するには

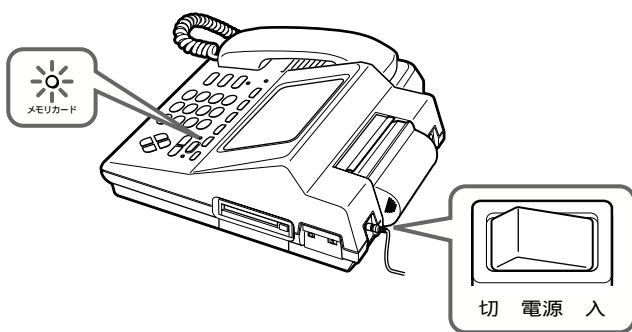
アプリケーション用ICメモリカードにより、各種データ通信サービスを利用することができます。ICメモリカードスロットは、JEIDA（日本電子工業振興協会）Ver 4.0仕様の標準品を装備しています。ICメモリカードに関するサービス内容や詳しい操作方法については、ICメモリカードに付属される取扱説明書をご覧ください。

ICメモリカードを入れる

- ① 電源を切ります。
- ② ICメモリカードの表裏および差し込み方向を確認して、ICメモリカードをメモリカード挿入口へ入れます。メモリカード挿入口へICメモリカードが止まるまで押し込みます。メモリカード取出しボタンが手前に少し出ます。

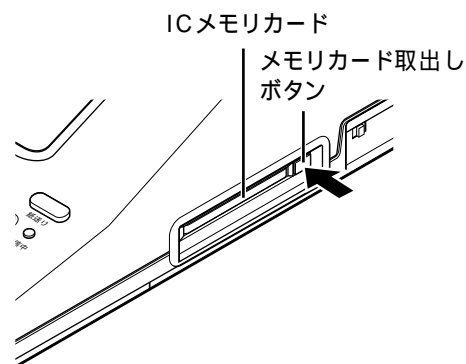


- ③ 電源を入れます。メモリカードランプが点灯します。

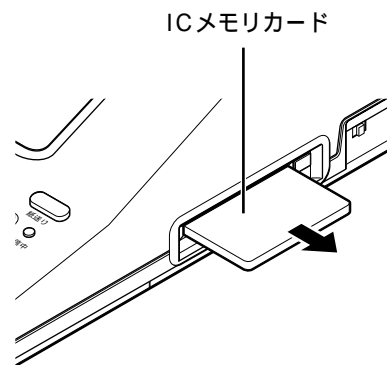


ICメモリカードを取り出す

- ① 電源を切ります。
- ② メモリカード取出しボタンを押します。



- ③ ICメモリカードがメモリカード挿入口から手前に少し出ますので取り出します。



1
前に
お使用になる

2
する
初期設定を

3
受ける
電話をかける／

4
登録する
電子電話帳を

5
を利用する
ICメモリカード

6
印刷する

7
こんなときには

お知らせ

ICメモリカードを使用していますので、将来のアプリケーションの拡大に際しても、カードの取り替え、追加に対応ができます。

モデム通信時は、ICメモリカードからの自動発信後、相手と接続するまでスピーカによるモニタを行います。「ビー」、「ガー」という音はモデム通信時の音で異常ではありません。

キャッチホンサービスをご契約になる場合には次の点にご注意ください。

- データの送受信中に他の方から電話がかかってくるとデータエラーが発生することがあります。また、上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりませんが、キャッチホンサービスの異常ではありません。
- モデム通信をお使いのときでも安心してご利用できるキャッチホン サービスもあります。なお、キャッチホン サービスをご利用の場合でも、お客様の操作などの注意が必要となります。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

お願い

当社の指定するICメモリカード以外は使用できません。

ICメモリカードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください。電源を入れたままICメモリカードの抜き差しを行うと、通信は切断され、カード内のメモリ内容が破壊されるおそれがあります。

ICメモリカードをメモリカード挿入口へ入れるときは、ICメモリカードの表裏および差し込み方向を確認してください。



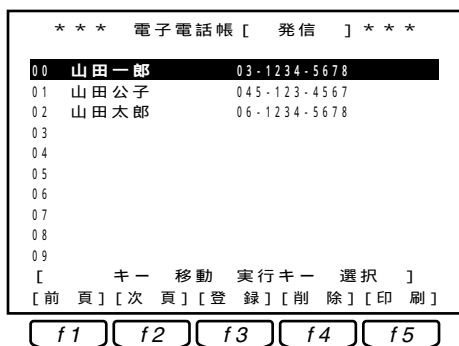
警告

メモリカード挿入口から本商品の内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて異物を取り除いてからご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

印刷するには

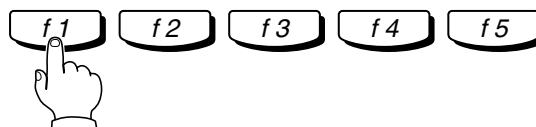
本商品には、漢字20文字/行の印刷が可能なミニサーマルラインプリンタ（感熱式）が装備されています。電子電話帳の登録内容（名前・電話番号）を簡単に印刷できます。アプリケーションで提供される画面の印刷方法については、ICメモリカードに添付された取扱説明書を参照してください。

例 「電子電話帳」画面を印刷する



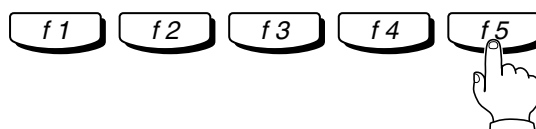
1 「初期メニュー」画面が表示されていることを確認して、**f1** キー [電話帳] を押します。

「電子電話帳 [発信]」画面が表示されます。



2 印刷したいページを表示し、**f5** キー [印刷] を押します。

表示されている画面が印刷されます。



3 印刷が終了したら **終了** キーを押します。
「初期メニュー」画面に戻ります。



1
前に
お使いになる

2
する
初期設定を

3
受ける
電話をかける /

4
登録する
電子電話帳を

5
を利用する
ICメモリカード

6
印刷する

7
こんなときには



ワンポイント

印刷を途中でやめるには

終了 キーを押します。

印刷を中止して「初期メニュー」画面に戻ります。ただし、ご利用しているICメモリカードによっては最後まで印刷されることがあります。

感熱ロール紙がつまったら

ロール紙ホルダを開け、つまった部分を取り除きます。(●P64)

感熱ロール紙の端に赤のエンドマークが出てきたら

感熱ロール紙が残り少ないときに出きます。感熱ロール紙を交換してください。(●P22)

電子電話帳の複数の画面を印刷するには

f1 キー [前頁] または **f2** キー [次頁] を押して、1画面ずつ印刷してください。



お知らせ

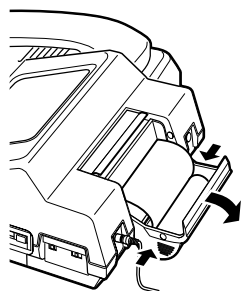
感熱ロール紙がない場合でもプリンタは印刷動作を行います。感熱ロール紙の残りが少ないときは新しい感熱ロール紙に交換してください。(●P22)

印刷中にハンドセットを取りあげたり、**スピーカ** キーを押すと「電話機能」画面に切り替わり、印刷が乱れることがあります。

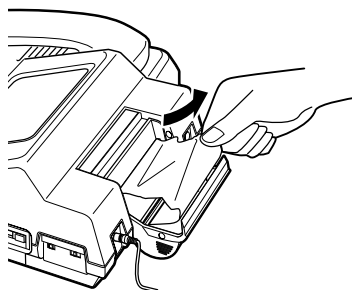
感熱ロール紙が詰まったら

感熱ロール紙が詰まったときは次のようにして取り出します。

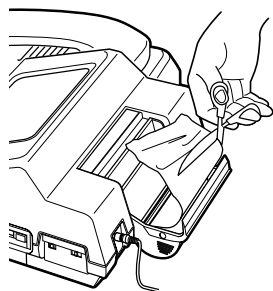
- ① ロール紙ホルダの両脇を指で押しながら開けます。



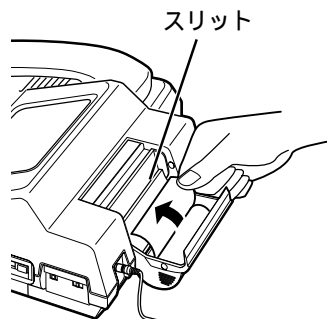
- ② つまった部分をスリットから引き出します。



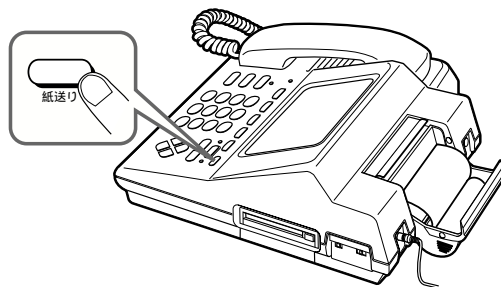
- ③ つまった部分を切り取ります。



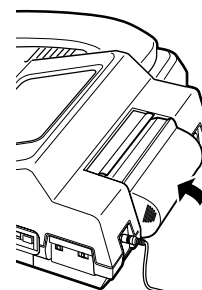
- ④ 感熱ロール紙の先端をスリットに挿入します。



- ⑤ 紙送りキーを押して、感熱ロール紙を紙排出部から1 cmほど出します。



- ⑥ ロール紙ホルダをもとの位置にしっかり差し込みます。

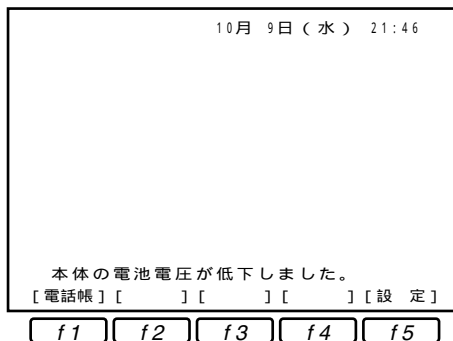
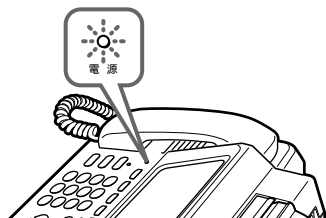


! 注意

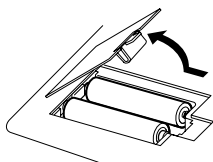
感熱ロール紙の交換などでロール紙ホルダを開けるときは、突起物などにご注意ください。引っかけてけがの原因となることがあります。

電池を交換するには

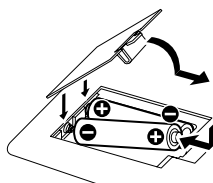
電池の残量がなくなってくると、電源ランプが赤色に点滅して「初期メニュー」画面に切り替わり、メッセージが表示されます。また、スピーカから「ピーピー」という警報音（約3秒間）が鳴ります。ただし、ICメモリカードを挿入している場合は、メッセージ（本体の電池電圧が低下しました。）は表示されません。底面の電池カバーを開けて、新しい電池と交換してください。



① 底面の電池カバーを取り外します。



② ⊕ と ⊖ の向きに注意して、単三乾電池を入れ替え、電池カバーを取り付けます。



お知らせ

警報音が鳴るのは、電源を入れたとき、およびバックライトが点灯するときです。

「本体の電池電圧が低下しました。」のメッセージが表示されたら、速やかに電池を交換してください。長い間放置しておくと、本体内に記憶されているデータの内容が消去される場合があります。ただし、ICメモリカードを挿入している場合は、メッセージは表示されません。

停電中に乾電池が消耗すると、本体内の記憶の内容が消去される場合があります。

STOP お願い

乾電池は消耗品ですので、1年に一度交換することをお勧めします。

交換するときは、付属品と同じ乾電池または同等品を使用し、2本とも同じ種類の新しい乾電池を入れてください。

乾電池の液漏れが起きたときは、電池ケースの中についた液をよくふき取ってください。万一液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池交換は、必ず本体の電源スイッチを「切」にしてから行ってください。また、交換は1分以内を目安に速やかに行ってください。長い時間をかけると、本体内に記憶されているデータの内容が消去される場合があります。

⚠ 注意

乾電池を本商品に挿入する場合は、極性表示 プラス(+)と マイナス(-)の向き に注意し、機器の表示どおりに正しく入れてください。間違えると乾電池の破裂・液漏れにより、けがをしたり周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池が消耗すると「本体の電池電圧が低下しました。」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、速やかに新しい乾電池と交換してください。液漏れの原因となることがあります。

1 前に
お使いになる

2 初期設定を
する

3 電話をかける/
受ける

4 電子電話帳を
登録する

5 ICメモリカード
を利用する

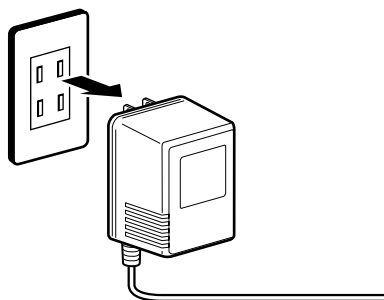
6 印刷する

7 こんなときは

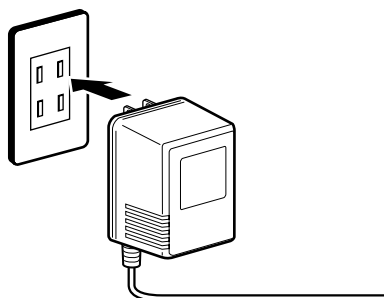
電源復旧するには

落雷などの原因により異常が発生した場合には、電源保護素子が作動して、自動的に電源が切れる場合があります。電源アダプタをコンセントから約1分間外して、再度接続しなおしてください。

- 1 電源アダプタをコンセントから外します。



- 2 電源アダプタを外して約1分経過したら再度接続してください。



STOP お願い

本商品が正常に動作しているときは、電源アダプタには絶対に触れないでください。

停電になったときは

停電中はディスプレイやすべてのランプは消えますが、電話をかけたり受けたりすることはできます。ただし、モデムによる通信はできなくなり、電子電話帳も利用できません。

停電のときに使用できる電話機能

機能		使い方
発信	オフフックダイヤル	ハンドセットを取りあげて、ダイヤルキーで相手番号をダイヤルします
着信	呼出音量調節	ハンドセットを取りあげて電話を受けます。本体の呼出音量切替スイッチにより音量の調節ができます
通話		ハンドセットを取りあげて、通常の話ができます

通話中に停電したとき

通電時の状態	停電したときの状態
ハンドセットでお話しているとき	そのまま通話を続けられます
スピーカ受話（オンフックダイヤル）をしているとき	通話は切れます
保留していて、ハンドセットを外しているとき	保留は解除され、通話状態になります
保留していて、ハンドセットを置いているとき	通話は切れます



お知らせ

停電になっても、次の記憶内容は保持されます。

- 日付、時刻
- 電子電話帳
- 初期設定の内容

本体の電池電圧低下時（電源ランプの赤色点滅、警報音、メッセージ「本体の電池電圧が低下しました。」）に停電があると、記憶の内容がお買い求め時の状態に戻ることがあります。

モデム通信中に停電になった場合は、通信が正常に行われたかどうか確認してください。

ハンドセットを取りあげて相手番号をダイヤル中に停電になった場合は、電話がかからなかったり違う相手にかかったりしますので、一度ハンドセットを置き、再度ハンドセットを取りあげて相手番号をダイヤルしてください。停電が復旧したときも同じ状態になります。

停電になった場合、本体からダイヤルするときは外部電話機をご使用にならないでください。正常に電話がかからない場合があります。

停電の場合は、相手の方との通話が本体および外部電話機の両方で聞こえます。

誤って電源アダプタが抜けたときも停電時と同じ状態になります。

1
前に
お使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
ノ

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

7
こ
ん
な
と
き
に
は

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、お問い合わせや修理をご依頼する前に次の点をご確認ください。

基本的な使い方

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
電源スイッチを「入」にしても「初期メニュー」画面が点灯しない ディスプレイが点灯しない	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください	P20
	表示濃度調節つまみの位置が合っていない	表示濃度調節つまみを動かしてみてください	P24
	停電のため	故障ではありません	P67
	電源保護素子が作動している	電源アダプタをコンセントから約1分間外して再度接続してください	P66
スピーカから音が出ない	スピーカの音量が最小になっている	スピーカ音量調節つまみを奥にスライドして音量を大きくしてください	P33
着信音が小さい	呼出音量切替スイッチが「小」になっている	呼出音量切替スイッチを「大」にしてみてください	P34
日付と時刻が合っていない	日付と時刻の設定が間違っている	日付と時刻の設定をやり直してください	P26
	停電（ブレーカが落ちた）中に乾電池が消耗した	新しい乾電池と交換して、日付と時刻の設定をやり直してください	P65
ディスプレイが異常な表示をする キー操作できない	近くに雷や強力なノイズ（電磁波など）が発生している	ノイズの発生源を取り除いたあと、電源スイッチを切って入れ直してください	

電話をかける / 受ける

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
電話がかけれない 電話がかかってこない	電話機コードが電話機用コンセントにしっかりと差し込まれていない。または 電話機ジャックと回線ジャックを間違えて差し込んでいる	電話機コードを本体の回線ジャックに「カチッ」というまで、しっかりと差し込んでください。また、電話機コードのもう一方を電話機用コンセントに「カチッ」というまで、しっかりと差し込んでください	P20
	ハンドセットコードが本体にしっかりと差し込まれていない	ハンドセットコードを本体に「カチッ」というまで、しっかりと差し込んでください	P17
	回線種別切替スイッチの設定が合っていない	電話回線の種別、ダイヤル速度に合わせて回線種別切替スイッチを設定してください	P21
	ハンドセットが外れたままになっている	ハンドセットをきちんと置いてください	
自動ダイヤルで電話がかけれない	電子電話帳の電話番号が正しく登録されていない	登録内容を確認してください	P40
ハンドセットを取りあげても「ツー」という音がしない（無音）	外部電話機で通話中または本体で通信中である	外部電話機の使用、モデム通信中は電話機能は使えません	
再ダイヤルできない	停電があった（ブレーカが落ちた）	故障ではありません	
スピーカ、再ダイヤル、保留の各キーを押しても操作できない	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください	P20
	電源保護素子が作動している	電源アダプタをコンセントから約1分間外して再度接続してください	P66

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
ノ

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

7
こ
ん
な
と
き
に

ICメモリカードを利用する

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
モデム通信ができない。通信エラーが多い	モデムの送出力レベルが合わない	モデム送出力レベルの調節が必要なときがあります。当社のサービス取扱所へご相談ください	
ICメモリカードのアプリケーションが起動しない	ICメモリカードが抜けている	ICメモリカード挿入口へICメモリカードが止まるまで押し込んでください	P60

印刷する

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
文字が印刷されない	感熱ロール紙の巻き方向を誤ってセットしている	感熱ロール紙の巻き方向を正しくセットしてください	P22



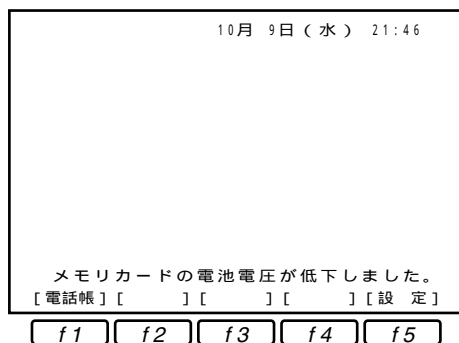
警告

万一、煙が出ている、変なおいがるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源を切り、その後必ず電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、本商品の電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

エラーメッセージの意味と処置方法

本商品のエラーメッセージは、ディスプレイの下段に表示されます。ICメモ리카ードのアプリケーションが出すメッセージについては、ICメモ리카ードに添付された取扱説明書をご覧ください。



エラーメッセージ	原因	処置	参照ページ
メモ리카ードの電池電圧が低下しました。	ICメモ리카ードの電池寿命によって電池電圧が低下したときの表示です (RAM型のとき)	ICメモ리카ードの電池の交換が必要です。当社の営業所等へご相談ください。なお、電池交換すると、ICメモ리카ードに記憶されたデータは消去されます	
本体の電池電圧が低下しました。	本商品の乾電池の寿命により電池電圧が低下したときの表示です	新しい乾電池と交換してください。そのままにしておくと、本商品の記憶内容はお買い求め時の状態に戻ります	P65
メモ리카ードが抜けました。	ICメモ리카ードが動作中に本商品から抜けたときの表示です	本体の電源を切ってからICメモ리카ードを差し込んでください。ただし、ICメモ리카ードに記憶されたデータが消去されている場合があります	P60
このカードはご利用できません。	当社の指定するICメモ리카ードではないICメモ리카ードが挿入されたときの表示です	当社の指定するICメモ리카ードを挿入してください	P61

アルファベット

DP PB切替……………37
 ICメモリカード……………60
 ICメモリカードを入れる……………60
 ICメモリカードを取り出す……………60
 ICメモリカードを利用する……………60
 PB……………21
 PBX収容の設定……………29
 PBX付加番号の設定……………29

五十音

【ア行】

印刷する……………62
 英字（全角）の入力方法……………50
 英字（半角）の入力方法……………51
 液晶ディスプレイ……………16
 ディスプレイ表示の濃淡を調節する……………24
 エラーメッセージの意味と処置方法……………70
 オンフックダイヤル……………33、36
 音量
 スピーカの音量を調節する……………33
 着信音量を切り替える……………34

【カ行】

カーソルの移動……………25
 カーソルキー……………16
 回線ジャック……………20
 回線設定……………28
 回線種別切替スイッチ……………17、21
 回線・モデムの設定……………28
 PBX収容の設定……………29
 PBX付加番号の設定……………29
 電話番号の設定……………29
 ポーズ個数の設定……………29

外部電話機……………20
 カタカナ（全角）の入力方法……………48
 カタカナ（半角）の入力方法……………50
 紙送りキー……………16
 紙排出部……………16
 カレンダー・時計設定……………26
 漢字の入力方法……………46
 感熱ロール紙
 感熱ロール紙を切断する……………22
 感熱ロール紙をセットする……………22
 感熱ロール紙がつまったら……………64
 感熱ロール紙の端に赤のエンドマークが出てきたら……………63
 故障かな？と思ったら……………68
 ICメモリカードを利用する……………69
 印刷する……………69
 基本的な使い方……………68
 電話をかける／受ける……………68

【サ行】

再ダイヤル……………36
 再ダイヤルを中止する……………36
 再ダイヤルキー……………16
 削除
 個別に登録を削除する……………56
 すべての登録を削除する……………58
 実行キー……………16
 シャープキー……………16
 修正
 登録内容を修正する……………54
 登録前に修正する……………52
 文字や数字の修正方法……………52
 終了キー……………16
 受話口……………16
 仕様……………74

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
／

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

7
こ
ん
な
と
き
に
は

初期設定	
回線・モデムの設定	28
カレンダー・時計設定	26
表示 / 端末タイプの設定	30
初期設定メニュー画面	26
初期メニュー画面	24
初期メニュー画面の表示	24
シリアルインタフェース切替スイッチ	18
シリアルインタフェースジャック	18
スターキー	16
スピーカ	16
スピーカ音量	33
スピーカの音量を調節する	33
スピーカ音量調節つまみ	17
スピーカ受話	33
スピーカキー	16
スピーカランプ	19
スペースを入力する	45
接続する	20
他の機器との接続	20
送話口	16
【タ行】	
ダイヤル速度	21
ダイヤルキー	16
単三乾電池	20、65
単三乾電池収納部	17
着信	34
着信音量を切り替える	34
通信中ランプ	19
ディスプレイ表示の濃淡を調節する	24
ディスプレイ表示などの設定	30
訂正キー	16
停電になったときは	67
電源アダプタ	20
電源アダプタジャック	18、20
電源を入れる	24
電源スイッチ	18、24
電源復旧するには	66
電源ランプ	19
電子電話帳	
電子電話帳を訂正する	54
電子電話帳を登録する	40
電子電話帳データ全削除	58
電子電話帳で電話をかける	38
電子電話帳を訂正する	54
個別に登録を削除する	56
すべての登録を削除する	58
登録内容を修正する	54
電子電話帳を登録する	40
電話番号を登録する	42
登録を途中でやめる	53
登録できる文字数と文字種	41
登録前に修正する	52
特殊文字と使用目的	43
名前を登録する	40
文字や数字の修正方法	52
電子電話帳データ全削除	58
電子電話帳で電話をかける	38
電池を交換する	65
電池カバー	20、65
電話をかける	32
相手の方に待っていただく	35
同じ相手にかかけ直す	36
スピーカの音量を調節する	33
電子電話帳で電話をかける	38
ハンドセットを置いたままかける	33
ハンドセットを置いたまま再ダイヤルする	36
電話回線の設定をする	21
電話がかかってきたとき	34
相手を確認してから電話に出る	34
着信音量を切り替える	34
電話機コード	20
電話機ジャック	18、20

電話機能画面	32
電話機用コンセント	20
電話番号を登録する	42
電話番号の設定	29
登録	
電話番号を登録する	42
登録を途中でやめる	53
登録できる文字数と文字種	41
登録内容を修正する	54
登録前に修正する	52
特殊文字と使用目的	43

【ナ行】

名前を登録する	40
名前の入力方法	44
英字（全角）の入力方法	50
英字（半角）の入力方法	51
カタカナ（全角）の入力方法	48
カタカナ（半角）の入力方法	50
漢字の入力方法	46
スペースを入力する	45
登録できる文字数と文字種	41
特殊文字と使用目的	43
ひらがな（全角）の入力方法	44

【ハ行】

バックライト制御	30
発信	32
ハンドセット	16
ハンドセットコード	16
ハンドセットコード差込口	17
日付・時刻の表示	25
日付と時刻を合わせる	26
表示 / 端末タイプ設定	30
表示濃度調節つまみ	17
ひらがな（全角）の入力方法	44

ファンクションキー	16
ファンクションキーの機能表示	25
付属品	15
フックスイッチ	16
プッシュ回線	21
プッシュホンサービス	
プッシュホンサービスを利用する	37
プッシュホンサービスの種類	37
プリンタ	16、62
ポーズ個数の設定	29
保守サービスのご案内	75
保留	35
保留キー	16、35
保留メロディ	35
本体	15

【マ行】

メモ리카ード挿入口	17、60
メモ리카ード取出しボタン	17、60
メモ리카ードランプ	19、60
文字や数字の修正方法	52
モジュラジャック式	20
モデム	
回線・モデムの設定	28

【ヤ行】

呼出音量切替スイッチ	17
------------	----

【ラ行】

ランプ表示	19
ロール紙ホルダ	18、22、64

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
す
る
初
期
設
定
を

3
受
け
る
電
話
を
か
け
る
ノ

4
登
録
す
る
電
子
電
話
帳
を

5
を
利
用
す
る
IC
メ
モ
リ
カ
ー
ド

6
印
刷
す
る

7
こ
ん
な
ご
き
ご
は

主な仕様

外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

項目	内容	
使用回線	一般加入回線、構内交換機（PBX）の内線など2線式アナログ回線、事業所集団電話（CES）	
寸法	幅：約246mm 奥行き：約278mm 高さ：約97mm	
重量	本体：約1.7kg（感熱ロール紙を除く） 電源アダプタ：約420g	
使用電源	AC100±10V 50/60Hz	
消費電力	待機時：8VA 最大時：28VA	
直流抵抗値	通話時：289 通信時：292	
温度・湿度	5～35、35～85%（結露なし）	
ディスプレイ	表示方式	320×240ドット バックライト付ブルーモード液晶ディスプレイ
	表示文字種類	JIS第1水準、第2水準（1983年版）
	コントラスト調整	つまみにより調整可
プリンタ	印字方式	感熱記録方式
	印字文字種類	JIS第1水準、第2水準（1983年版）
	印字用紙	幅80mm×約7m 巻き感熱ロール紙 巻き外径：約30mm 印字色：黒

保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおつかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおつかがいするための費用が不要となります。

故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

その他

定額保守サービス料金については、テレアシスト案内センタへお問い合わせください。

テレアシスト案内センタ：☎0120-118877

補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

テレアシスト案内センタ

当社ではディスプレイホン・テレアシストをより便利に正しくご使用いただくために「テレアシスト案内センタ」を設置しています。お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。

感熱ロール紙の購入先

感熱ロール紙の購入は下記へお願いします。なお、他の製品との混同を避けるために、「テレアシスト NT1000用プリンタ用紙」とご指定ください。

NTTテレマーケティング株式会社

電話 ☎ 0120-201010 FAX ☎ 0120-044044



この取扱説明書は、
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、テレアシスト案内センタへお気軽にご相談ください。

テレアシスト案内センタ：☎0120 - 118877

NTTディスプレイホン・テレアシストNT1000取扱説明書

©1999 NTTEAST・NTTWEST



本1605-4(2000.7)
921369D1